

始



明治十四年九月刊行

第二次農務統計表

農務局

14.4

31



951423

第二次農務統計表

緒言

曩ニ勸農局ニ於テ農務統計表ヲ製シ土地人口農事ノ三項ニ係リタル主要ヲ示セリ今亦各地方ヨリ諸種ノ材料ヲ採集シ中外ニ對照シ今古ニ比較シ其増減盛衰ノ狀況等ヲ抄出シ之ヲ第二次農務統計表ト題セリ尙ホ表中掲クル所實際ノ調査ト推測トニ出ル者等アリテ未タ必シモ完全ナリトセス看者其レ之ヲ諒セヨ

明治十四年五月

農務局

目次

- 第一 民有地各種比例
- 第二 每國田畑宅地比例
- 第三 田畑反別荒地畝下反別比例
- 第四 被害田畑反別比例
- 第五 被害米損毛高比例
- 第六 米損毛高分合一覽表
- 第七 田畑人口比例
- 第八 古今田積石高比例
- 第九 米產額四年合計比例
- 第十 十二年作付反別平年比例
- 第十一 同 收穫一覽表

第十二 全國米消費概計

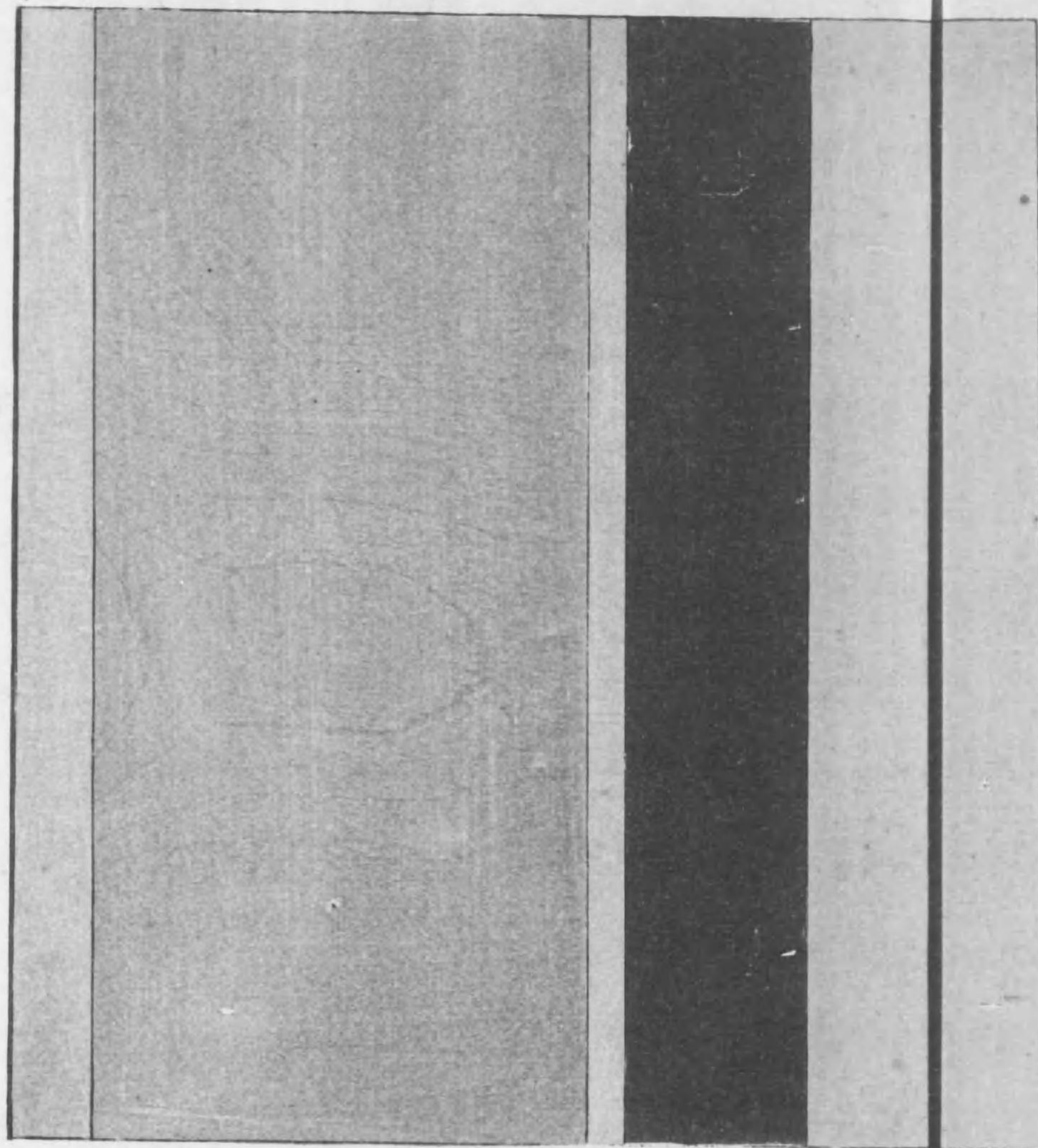
附東京府下米消費概計

- 第十三 十二年各酒釀造米石高表
- 第十四 人民常食種類比例
- 第十五 小作農夫賃錢比例
- 第十六 同 壹日雇錢比例
- 第十七 雇夫日給古今比例
- 第十八 十二年度勸業費比例
- 第十九 米輸出入原價比例
- 第二十 糸茶綿糖輸出入原價比例
- 第二十一 牛馬增減表

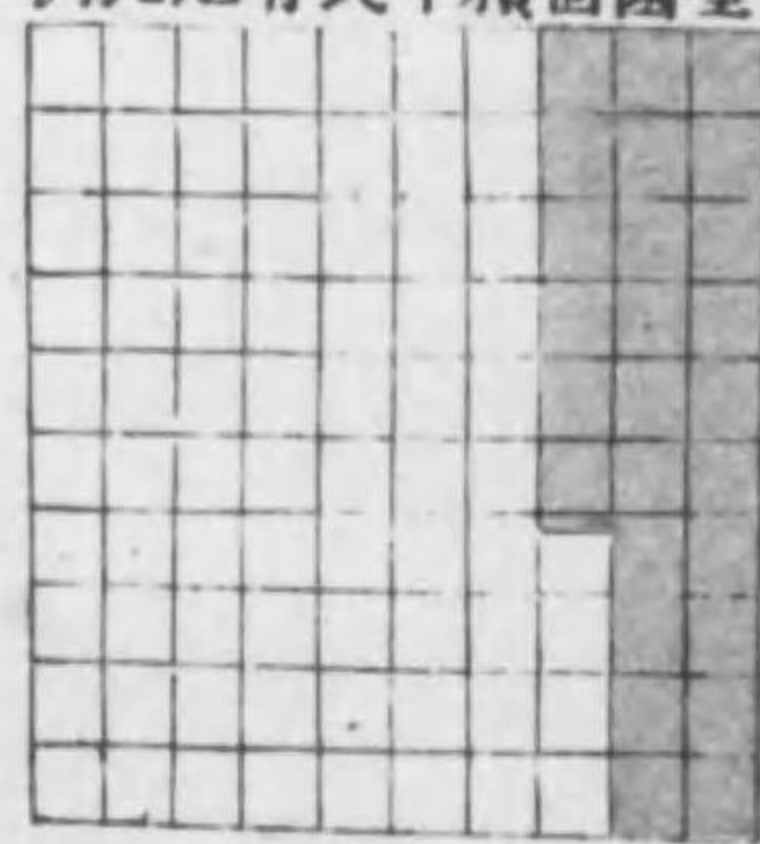
第一 民有地各種比例

此表ハ明治十三年十月の調査ハ係る寸積を以て三十町歩ノ率を

色例	民有地各種比例表		全計ニ對ス比例 百分中
	種別	反別	
田	二、六二三、六七七町。七二九	一、八四六、四四。一六	〇、二四五。〇
畑	一、八四六、四四。一六	三、四一五、五六。三二二九	〇、一七二。〇
宅地	三、四一五、五六。三二二九	五、〇五二、七。二三四一五	〇、〇三二。二
山林	五、〇五二、七。二三四一五	八、一八、七一。〇六二。八	〇、四七二。〇
原野	八、一八、七一。〇六二。八	一九、六。九六二二六	〇、〇七六。四
雜種	一九、六。九六二二六	一、七。六七。〇一五。一七	〇、〇〇一。八
合計	一、七。六七。〇一五。一七	一、〇。七。〇〇。〇	一、〇〇〇。〇



全國面積中民有地比例例

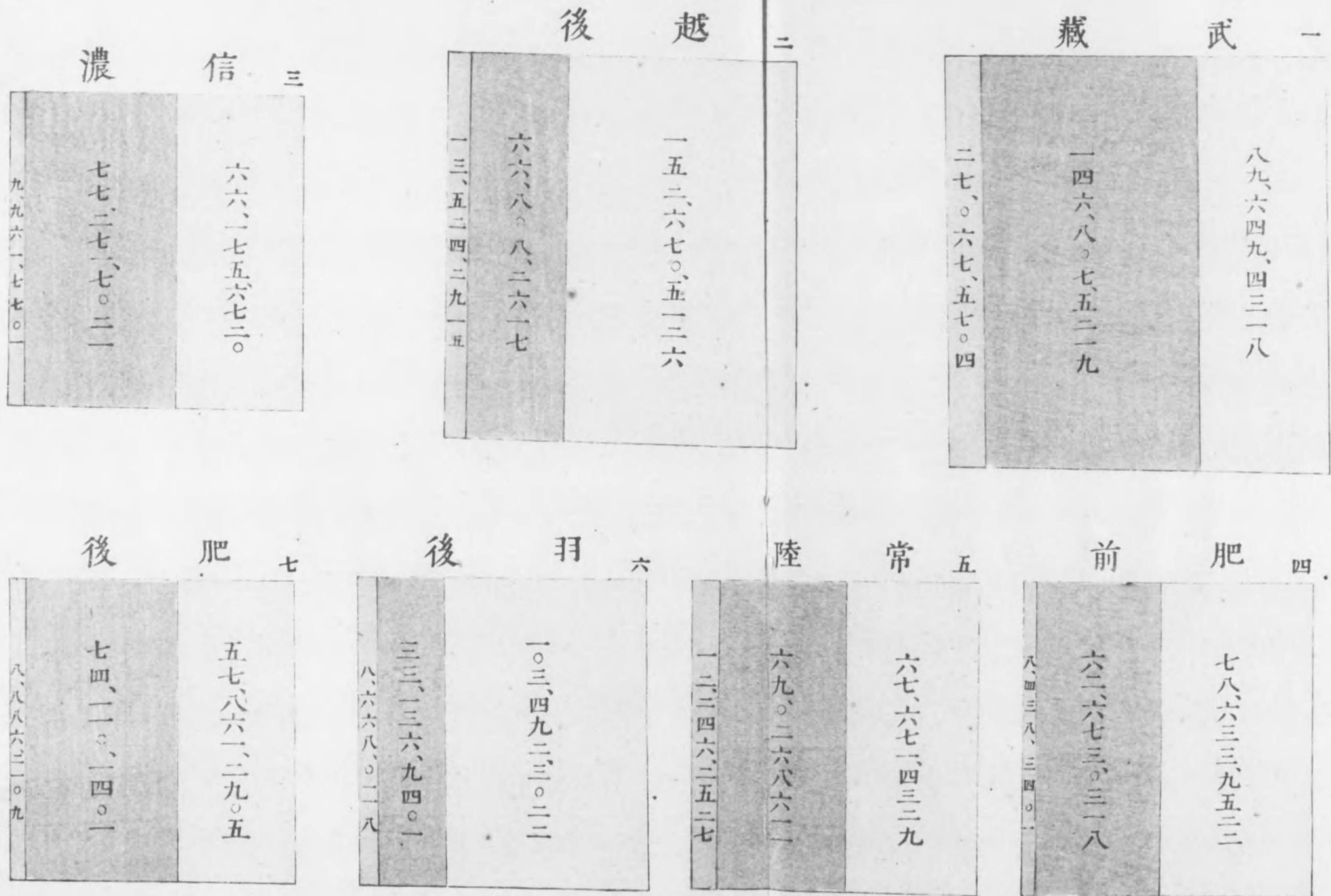


■ 民有地

第二 每國田畑宅地比例

此表の調査年度第一表より同一寸積を三万町歩小率を

□ 田
■ 畑
□ 宅地



野	下	士
一一、一〇九、九二一一	五五、二九二、六九二二	四八、九四五、二五二五

奥	陸	十
六、五九九、二一一六	五七、七一九、六二〇一	五六、六二七、六五二八

總	下	九
一〇、七〇四、七八一〇	五八、九一八、五七二七	六二、九四七、二九〇三

中	陸	八
九、二三三、三九〇〇	七五、〇一〇、三二一三	五〇、五九一、二〇一七

代	岩	六
五四九九、八八二八	三八、八一五、八〇二二	四八、九三三、七五〇五

向	日	五
七、二二〇、九五一八	五三、一六四、九五三七	三七、四五三、五三二九

野	上	四
一〇、〇六二、二一一二	六八、九三五、九七二五	二八、九三二、六五〇四

前	羽	三
七、二八二、四八一四	三一、五三三、二五二〇	七〇、二〇三、七五一六

前	陸	二
八、五四二、二二六六	三四、六四九、八四〇四	七一、四八〇、〇九〇五

勢	伊	世
五八一五、九〇〇四	一八、六八二、五七二五	五六、四九一、〇九二二

張	尾	二
七、四九七、九六〇二	二七、五四二、九八二九	四九、三九四、五四〇三

濃	美	十九
七、五二六、五九〇六	二四、五八三、六八二九	五四、九八三、二二一八

豫	伊	六
五、三八一、六二一六	三九、〇八八、九八〇三	四五、八七五、三二二七

中	越	十七
六、一七〇、二七〇〇	一一、五五〇、〇四二九	七五、二二八、八六〇〇

磨 ^廿 一三、九七四、六三二 五、一一二、五〇〇、三	播 ^廿 五五〇、八八、三九一九	城 ^廿 二六、三九六、四五〇、九 四、八〇、四、七八〇、七	磐 ^廿 四六、二三四、五七二七	佐 ^廿 二九、四二五、四〇、二一 三、五九、九、四八、一一	土 ^廿 三五、五一四、〇二二〇	總 ^廿 二八、〇七九、六二〇、五 七、二五〇、八一〇、五	上 ^廿 四三、五九五、〇二二一	江 ^廿 一〇、五一、一五〇〇 五、九二八、五一〇、八	近 ^廿 六二、七二二、六八二〇	後 ^廿 三九、一〇七、〇八〇〇 五、一三一、八、八、二五	豊 ^廿 三六、二二二、二七二二	世 ^廿
---	-------------------------------	--	-------------------------------	--	-------------------------------	---	-------------------------------	---	-------------------------------	---	-------------------------------	----------------

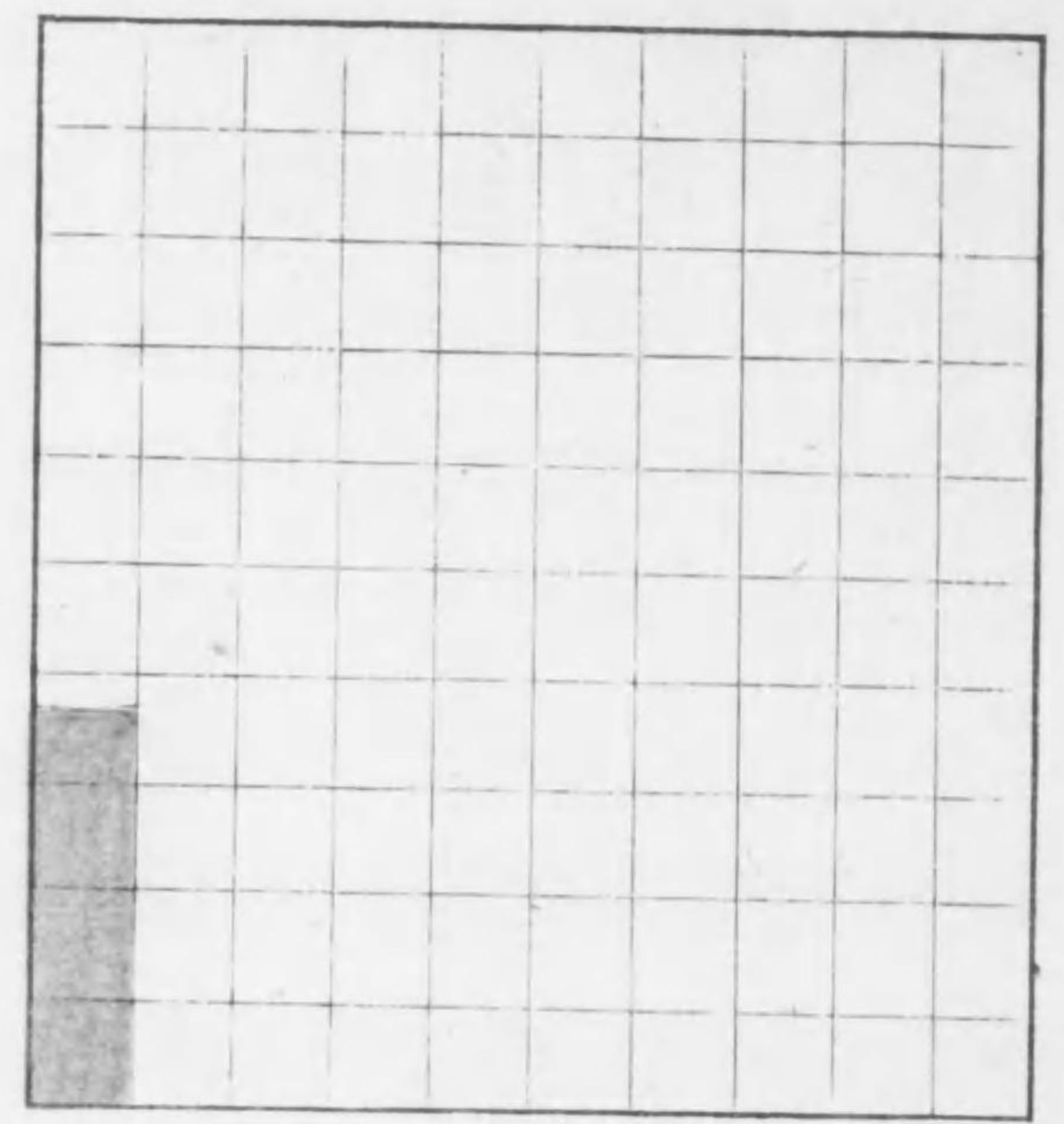
伊 ^廿 一三、八八四、八五一八 三、九三六、九、一六	紀 ^廿 三七、〇九〇、三四一八	江 ^廿 二二、二〇六、九五〇、六 四、七〇〇、五七、一九	遠 ^廿 二八、八九九、六二二、三	斐 ^廿 三四、〇一〇、八二二〇	甲 ^廿 一九、三三八、五五一九	摸 ^廿 三九、〇七三、二八〇〇 四、五八九、六四二、四	相 ^廿 一五、九三四、三九一二	藝 ^廿 一八、一六三、五九九、九 四、一一九、〇九〇、六	安 ^廿 四〇、五二七、六六六、九	前 ^廿 一五、一九八、九四二二 四、三三九、九、三三	筑 ^廿 四七、三五八、九三〇、二	河 ^廿 二九、三六四、三五一二 五、二九九、六、五、一九	三 ^廿 三四、八八七、四一〇、八	共 ^廿
---	-------------------------------	---	--------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--	-------------------------------	---	--------------------------------	---	--------------------------------	---	--------------------------------	----------------

津 ^廿 三二、四五六、四八二一 四、二三八、五七〇、四	攝 ^廿 九三、〇二五、五二一六	後 ^廿 一〇、六一一、七三二〇 三、八七、二六、七	筑 ^廿 三〇、五八五、六三二、三	中 ^廿 一九、五二五、八八二〇 三、一四二、六五、二、三	備 ^廿 二八、九一八、三四二一	岐 ^廿 九、四三九、五一〇 四、六〇、二、四、五〇、二	讚 ^廿 二八、〇三七、三九〇、四	後 ^廿 一七、三四四、八四三三 三、一七八、三四、一、四	備 ^廿 三三、三四七、五二二一	波 ^廿 二四、九八三、五四二二 五、四二、七、三、九	阿 ^廿 二二、二四、一五〇、二	前 ^廿 一〇、八八、二四二、六 三、七四七、六、二、二	越 ^廿 四〇、八三七、九三〇、七	世 ^廿
--	-------------------------------	--	--------------------------------	---	-------------------------------	--	--------------------------------	---	-------------------------------	---	-------------------------------	--	--------------------------------	----------------

波 ^廿 六、二五二、八八三三 二、五三六、二、二、一	丹 ^廿 二五、九七、七、六〇	前 ^廿 七、七五九、三、五〇〇 二、七五〇、七、四、一、六	備 ^廿 二七、六二九、四、四、三、六	防 ^廿 一〇、六三二、二八、一〇〇 二、一三、五、九、六、〇、〇	周 ^廿 二六、六九九、九八、六	前 ^廿 八、二六七、四〇、四 三、二九六、二〇、一、三	豊 ^廿 二八、七九二、七、四、一	賀 ^廿 二八、五一九、四、四、六 九、〇、五、六、六、一	加 ^廿 九、九三二、七七二一 三、九六三、八、二、一	雲 ^廿 三二、二一五、四、六、六	出 ^廿 九、九三二、七七二一	河 ^廿 一八、四五九、五、一〇〇 三、四九六、五、一、二、八	駿 ^廿 二二、三八二、一〇〇、七	和 ^廿 九、三九一、九、六、二、三 三、〇一五、〇〇、〇、二	大 ^廿 三二、九一五、九、八、二、七	世 ^廿
---	------------------------------	--	----------------------------------	---	-------------------------------	--	--------------------------------	---	---	--------------------------------	------------------------------	---	--------------------------------	---	----------------------------------	----------------

長門	二三四七、八二八	九、一五二、四一五	能登	二、五九〇、五五〇	九、一五三、八八二	石垂	一八、二五六、四三二	見	二、四〇七、三五〇	河垂	二、〇八〇、二九二	内	六、七五、四一四
伯耆	一九、四三六、〇一八	七、五三三、五二一	美作	一九、七七三、六五二	六、三〇六、八五二	但馬	一四、二〇八、二二一	山	一、二九九、一九九	城	五、三二八、四〇四	丹	一、九五五、五〇四
和歌山	二〇、二七九、三三三	四、三六三、四九三	因幡	三、六六六、二二三	二、二二六、五四三	伊賀	二、二六六、五四三	安房	七、七三三、二二七	飛騨	五、三三三、六六五	佐	七、九〇四、五八二
淡路	九、四四四、九〇〇	三、八五七、〇〇〇	伊予	四、五三三、六二五	一、〇七六、五五〇	香	六、八九三、二〇四	志	三、六六六、二二六	廣	三、七三三、二二二	對	六、七五、四一四
薩摩	四六、五六三、六六二	七	大隅	九八、三〇五、五六〇	九	摩	一〇、二〇七、八二〇						

第三 田畑反別荒地鉄下反別比例
此表の明治十年の調査に係る

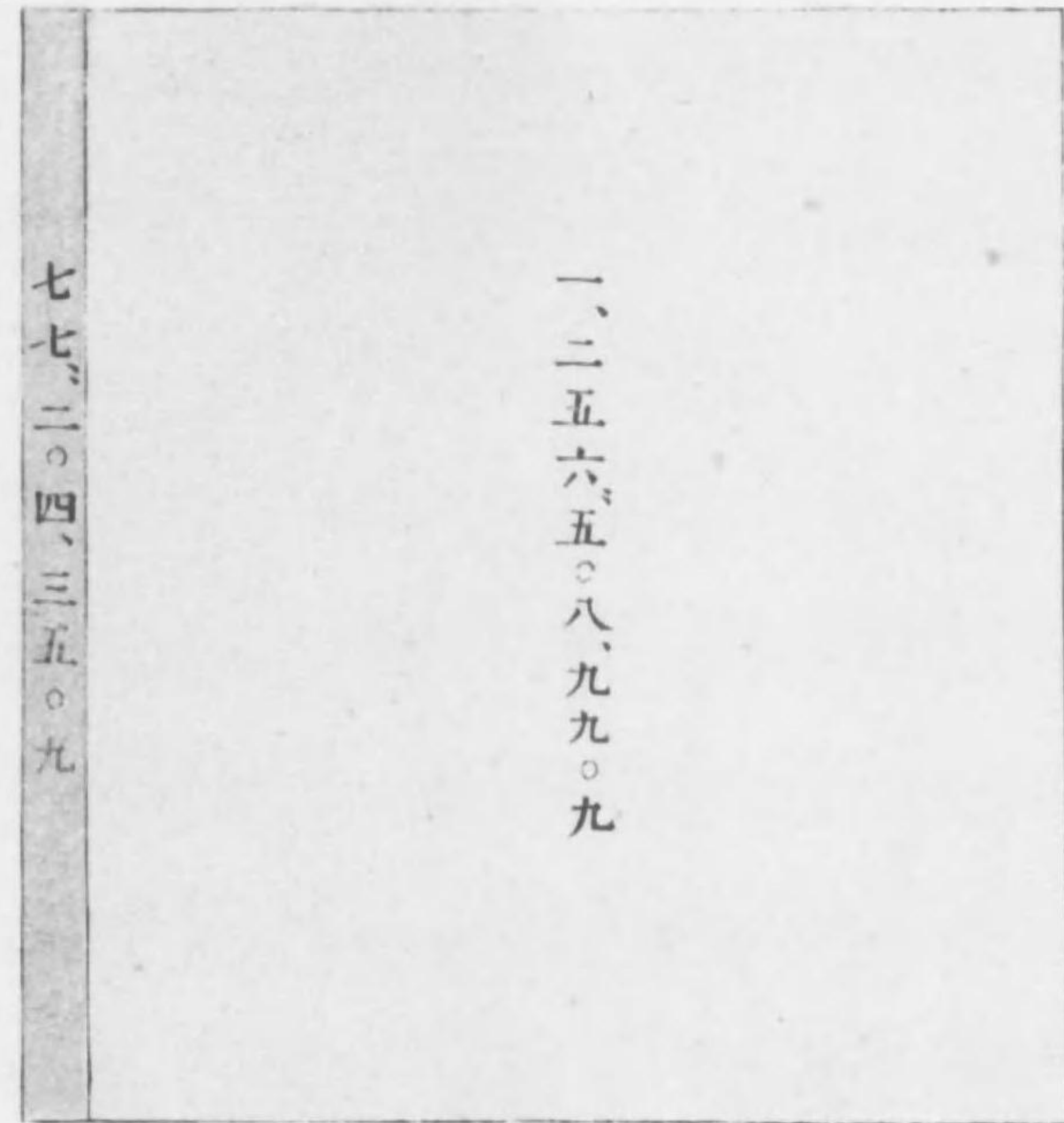


荒地鉄下

東山道	十三國	六、一四
東海道	十五國	三、七六
西海道	十一國	一、九五
北陸道	七國	六、二一
山陽道	八國	四、〇二
南海道	六國	一、五二
山陰道	八國	七、〇四
畿内	五國	三、二六

大隅薩摩の二國を合併の調査
して急速分離が受けきをも特
此を掲ぐ

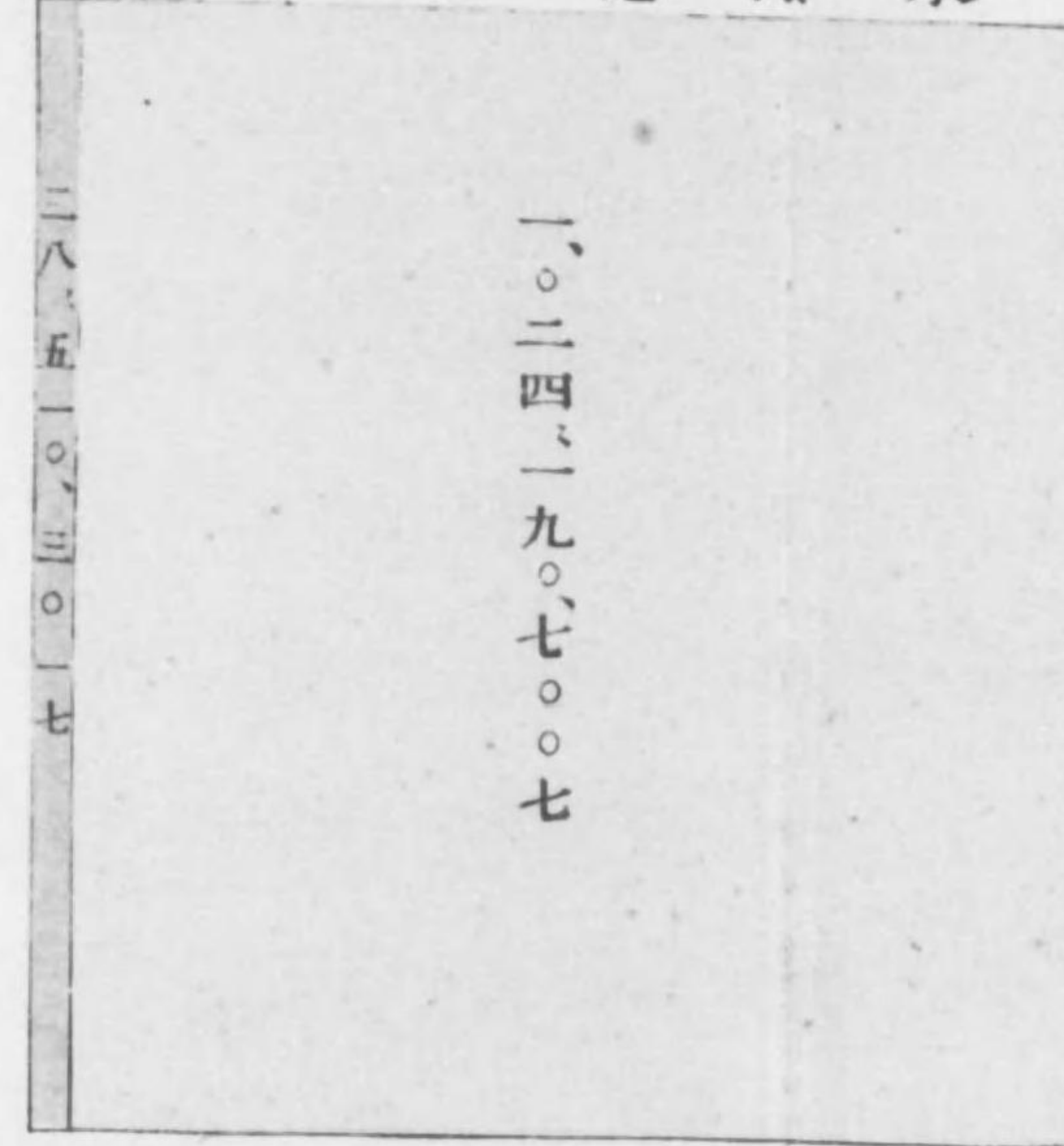
國三十道山東



田畑反別
荒地鉄下反別

歩位ニ止ム

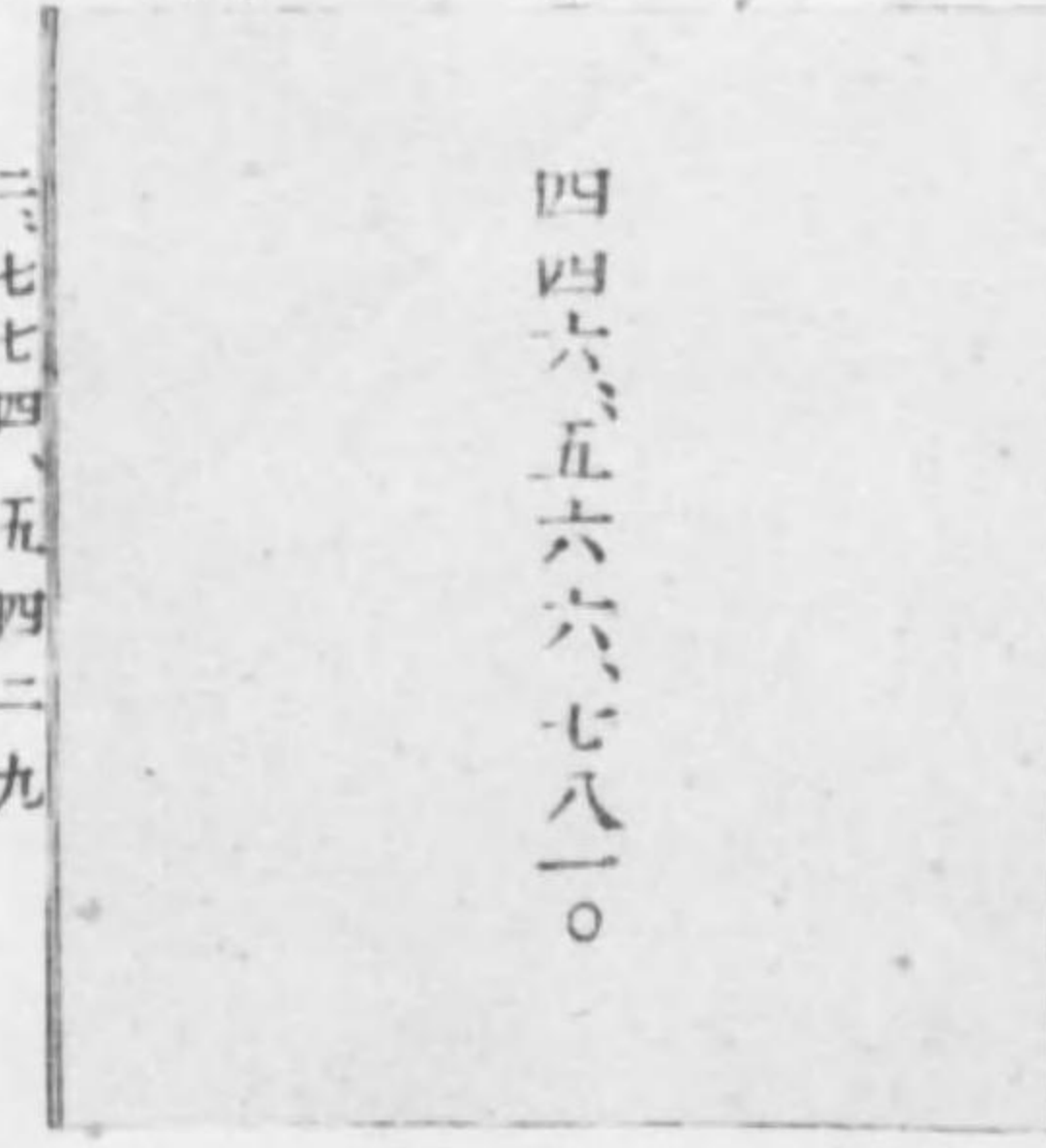
國五十道海東



國一十道海西



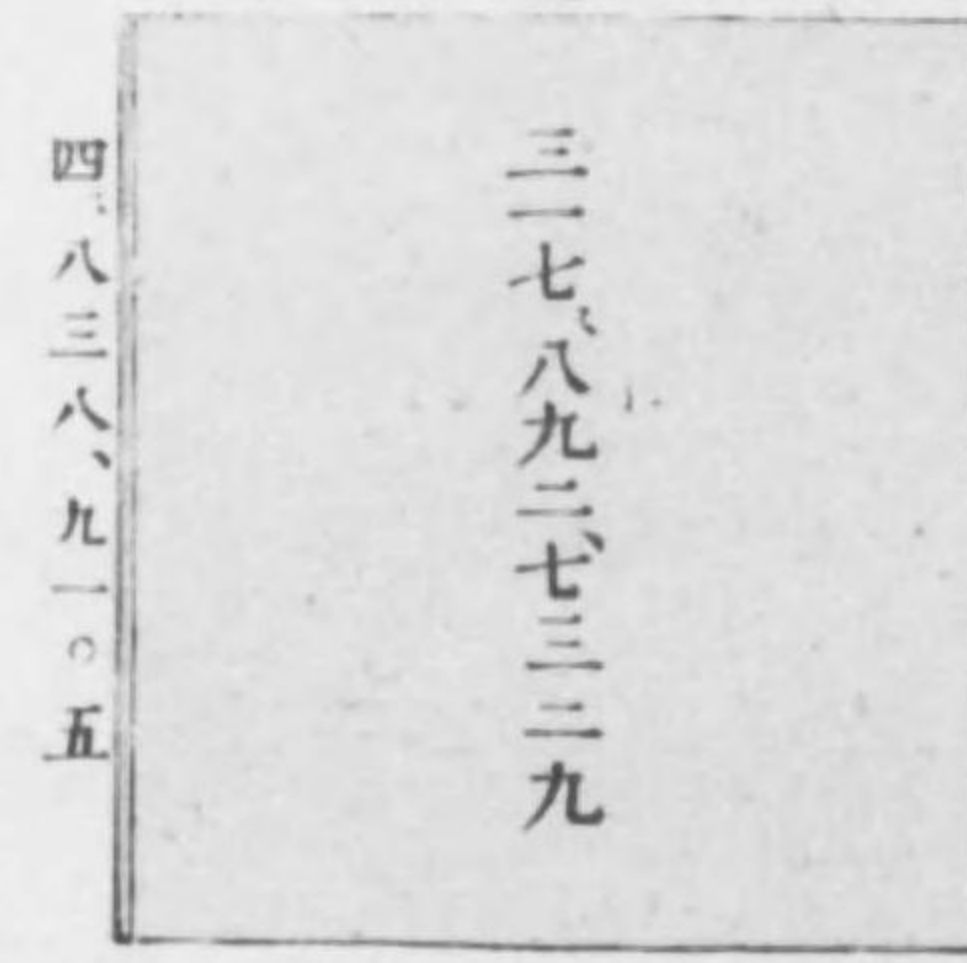
國七道陸北



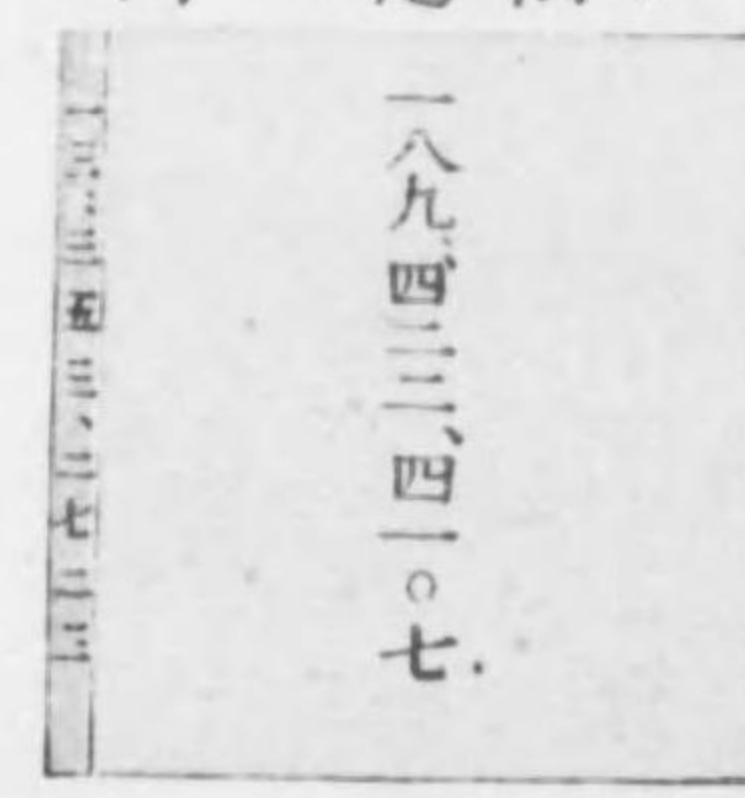
國八道陽山



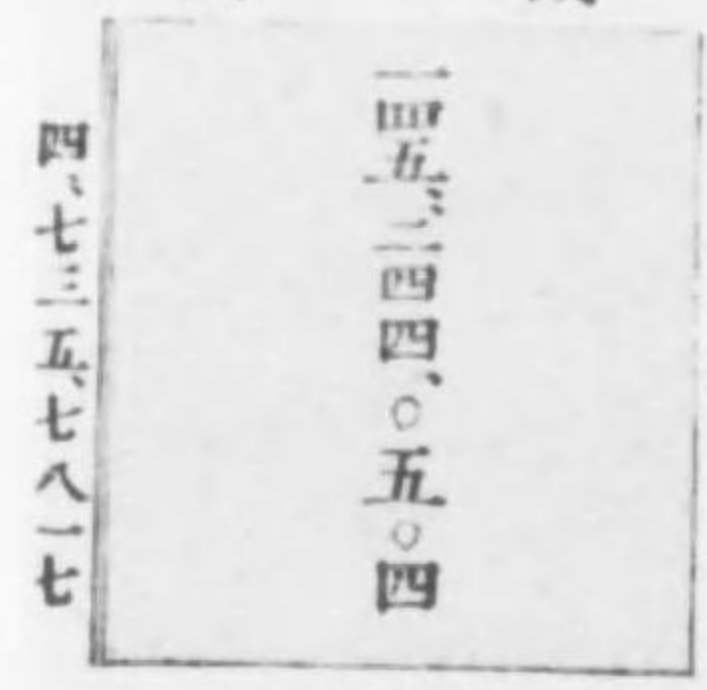
國六道海南



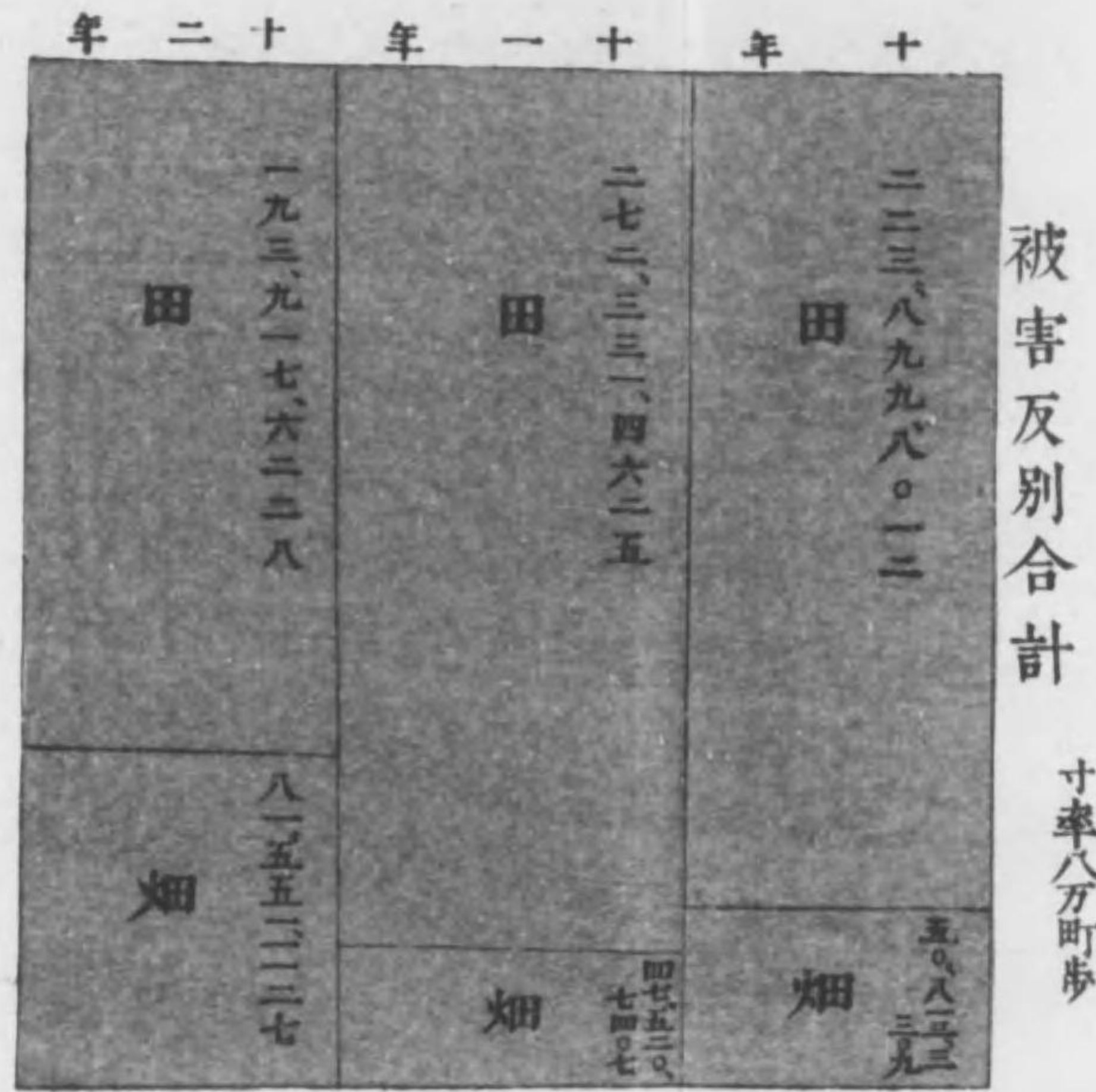
國八道陰山



國五内畿



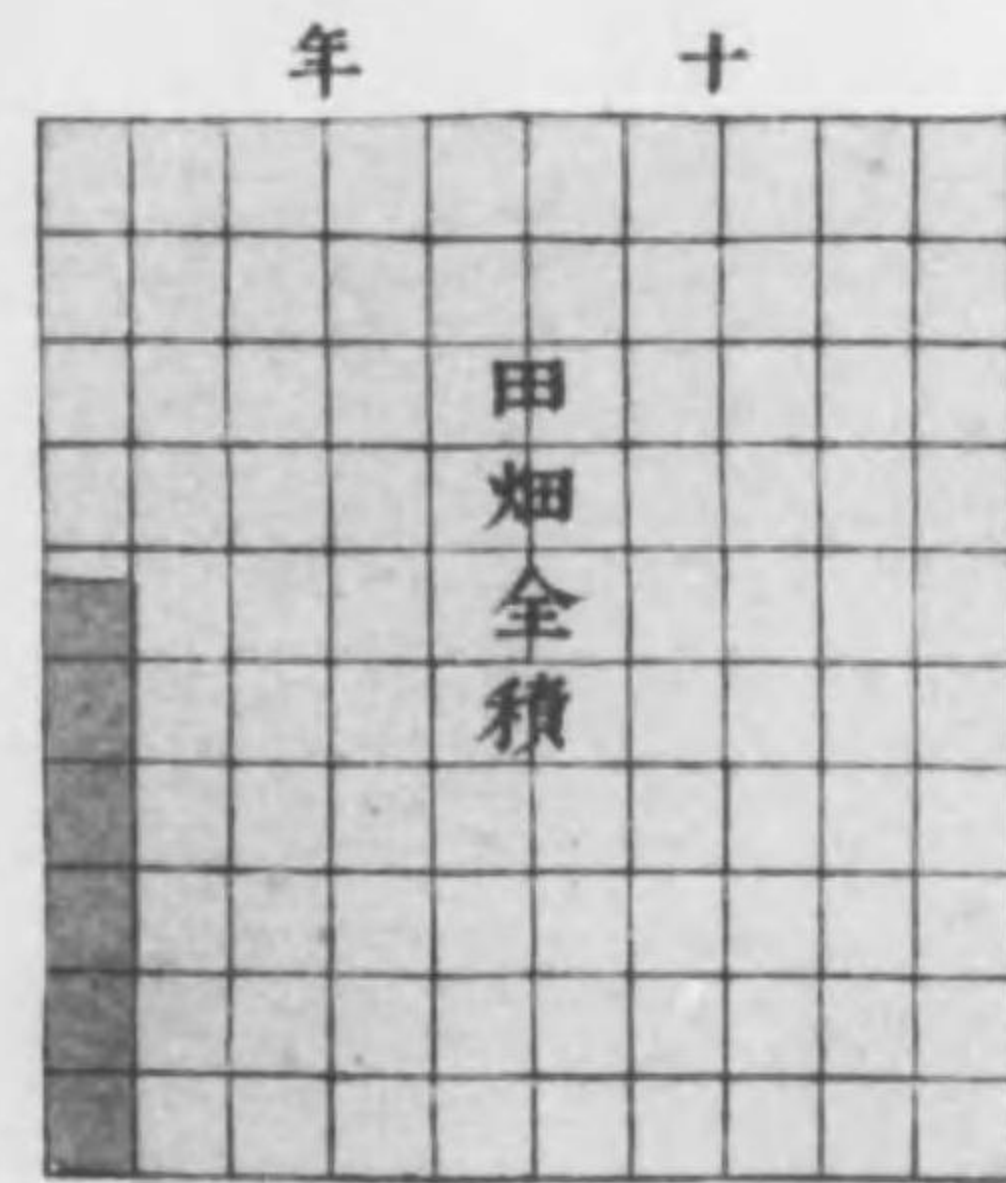
露光量違いの為重複撮影



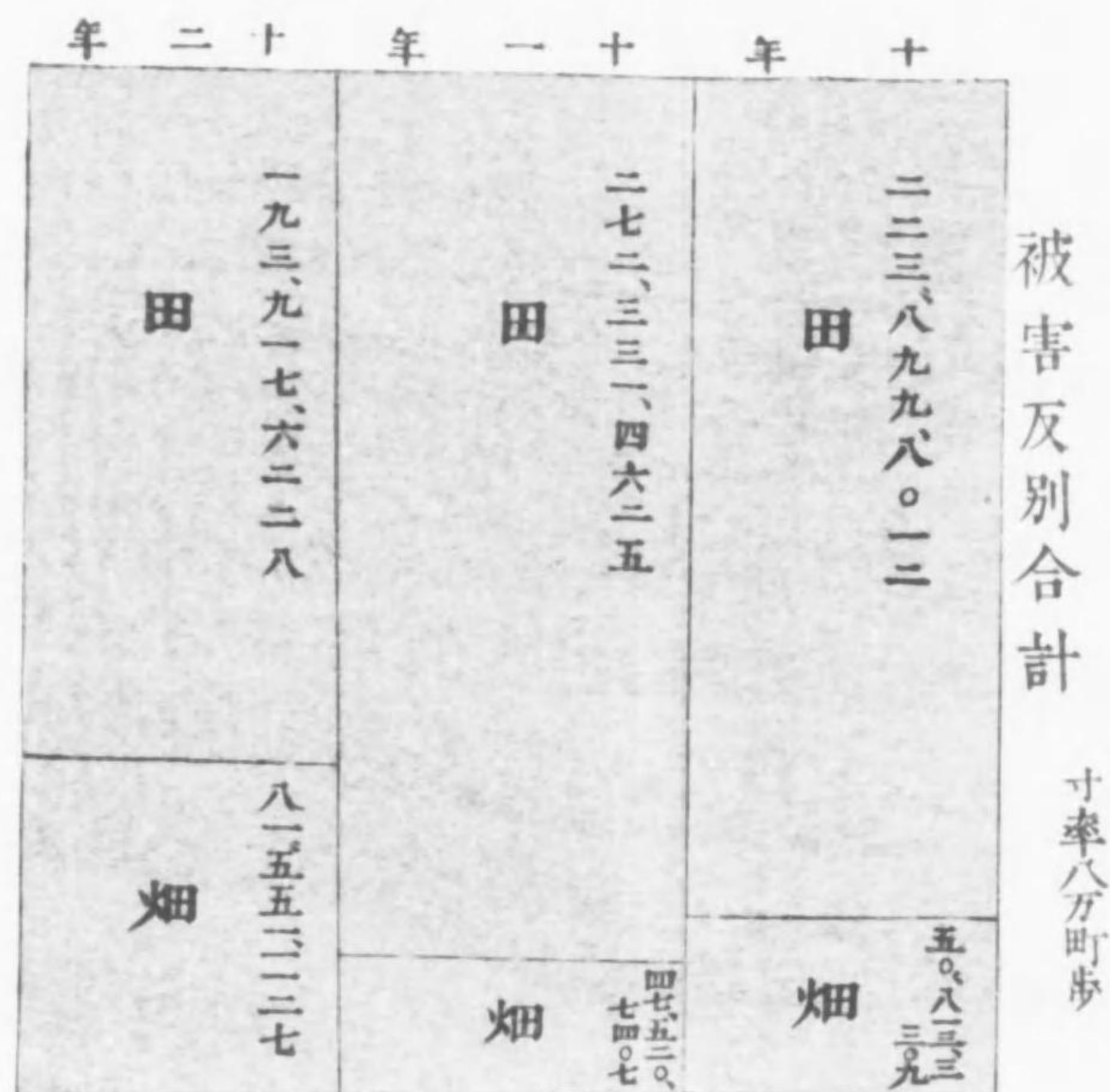
第四 被害田畑反別比例

此表の明治十年より十二年よりいたる三ヶ年間早魃洪水虫害を被りし田畑反別を示す

■被害



露光量違いの為重複撮影



第四 被害田畑反別比例

此表の明治十年より十二年よりいたる三ケ年間早魃洪水虫害を被りし田畑反別を示す

□ 被害



第五

被害米損毛高比例
早魃洪水暴風虫害等の爲に損毛せし米の石高を
以て收量惣額に對すれば百に付十年は「五」十一年
は「五、八」十二年は「三」の率となす

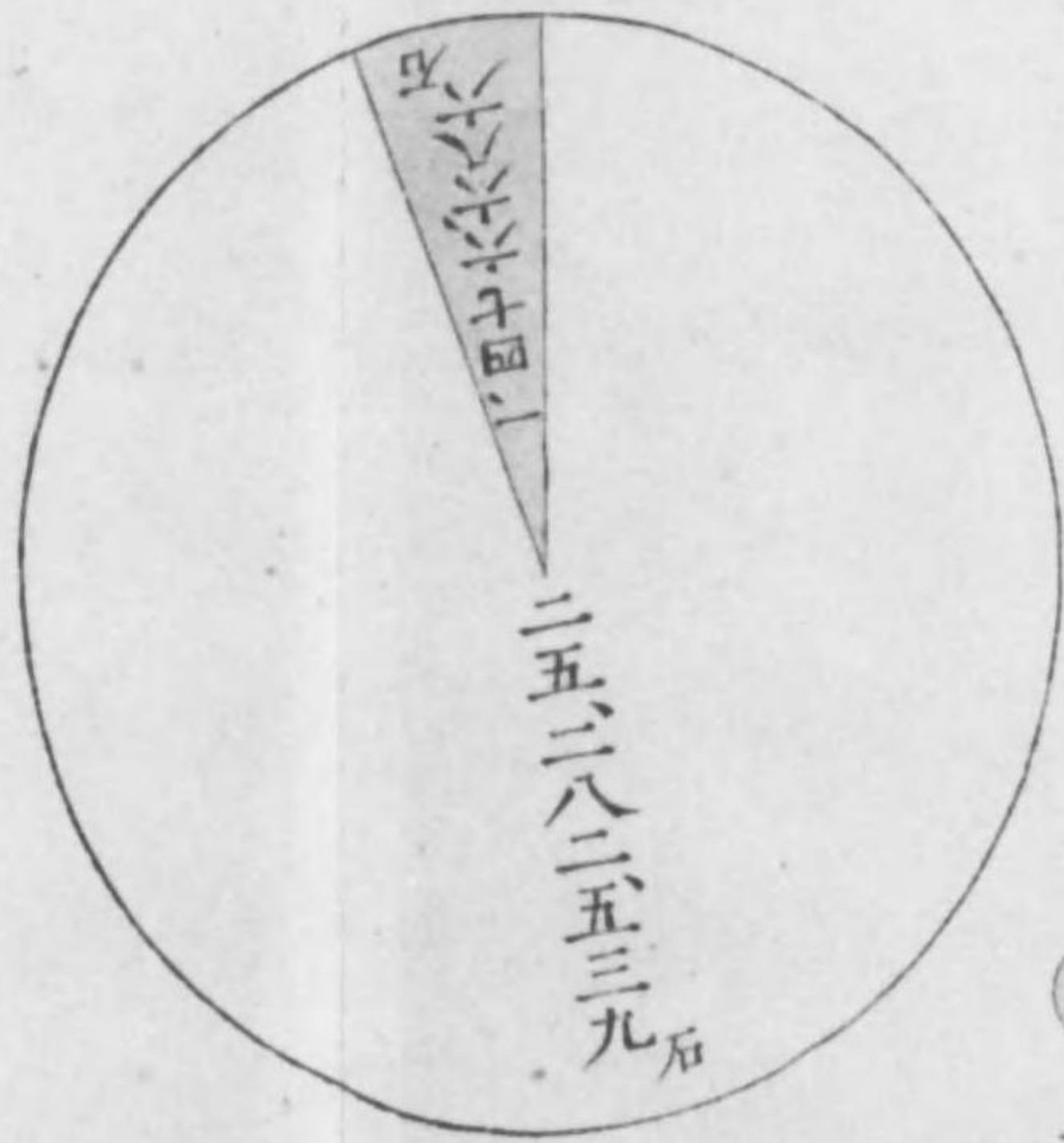
寸積五百万石

● 損毛高
○ 收量

第十年



第十一年



第十二年



凡う人の生命を保つ所のものは何ぞや穀類なり穀類の生殖を資くるもの何そや土地なりされは穀類と土地をば其開する所尤大なり故に先づ此表に於て古今の田積を比例し次の表に於て石高の多寡と示さんとす

さて故きを温ねて新トしきに比例せんとするに中古延喜の朝には格式等の官選われは畧は毎國の田積と窺ふことと得れども政權武門に歸し英雄各地に起り互に境と鎖し兵馬恠惚の世となりては田數石高等の調もさたかなトすしていまこれと搜索するに苦む降て天文年中將軍足利義輝各地の守護地頭に令して全國の石高と調させたる惣計はわれども毎國の高と記したるものと得き夫より後正文祿慶安元祿天保等の石高と得たれば假に石盛の率と設け反別と求め畧古今の比例と示す

延長寛正の田積と求めたるは延喜雜式に度は六尺と步積と

なすとあるに據るまた高麗尺五尺は我六尺にわたると以て六尺と步積と定められしことも見ゆ但しこの尺は天平尺なるべければいまの尺とはたかゝとも假にいまの尺となし用ふ延長寛正ころの段歩は(三百六十步)なれとも現今と比例するために(三百步)一反につくる

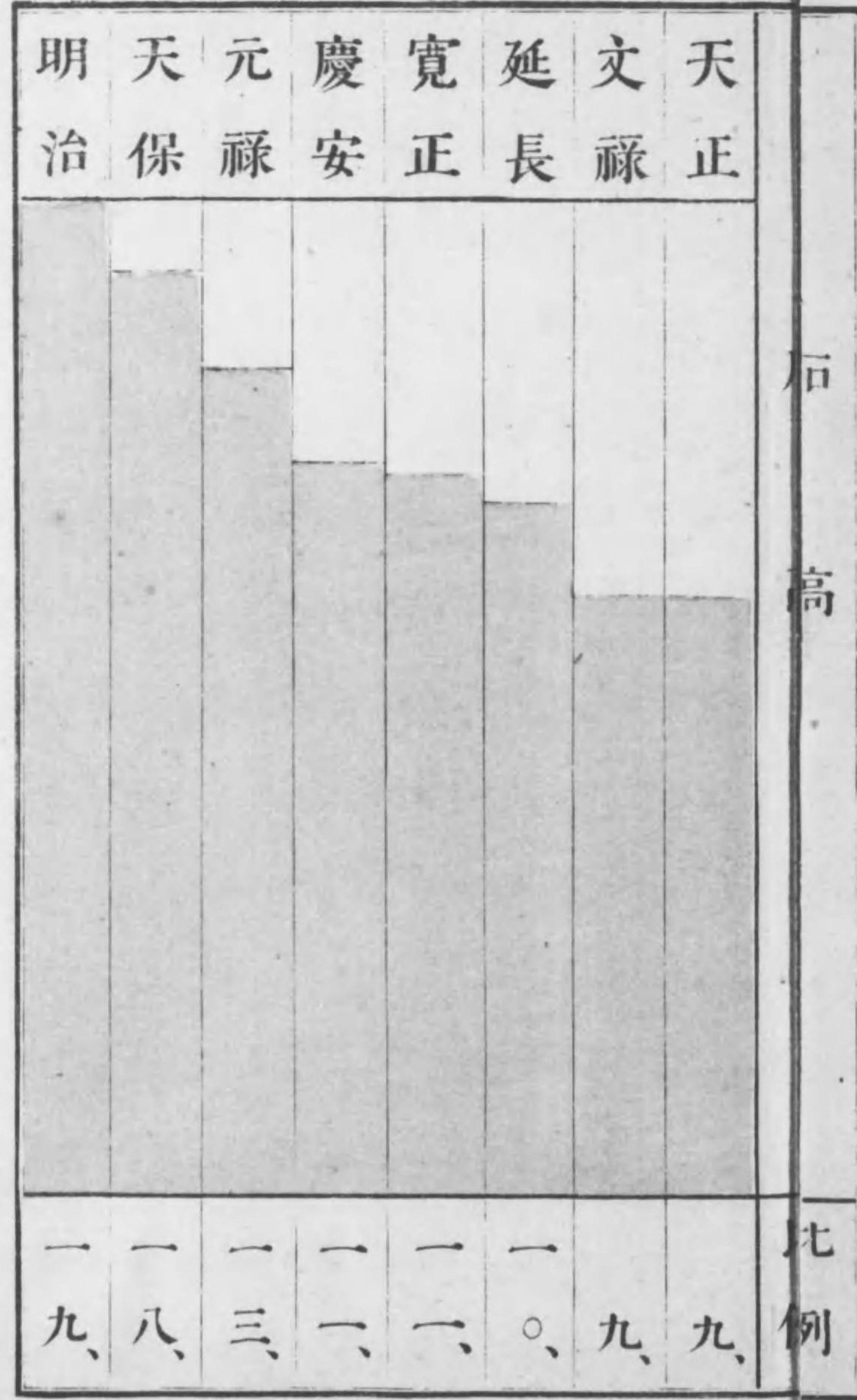
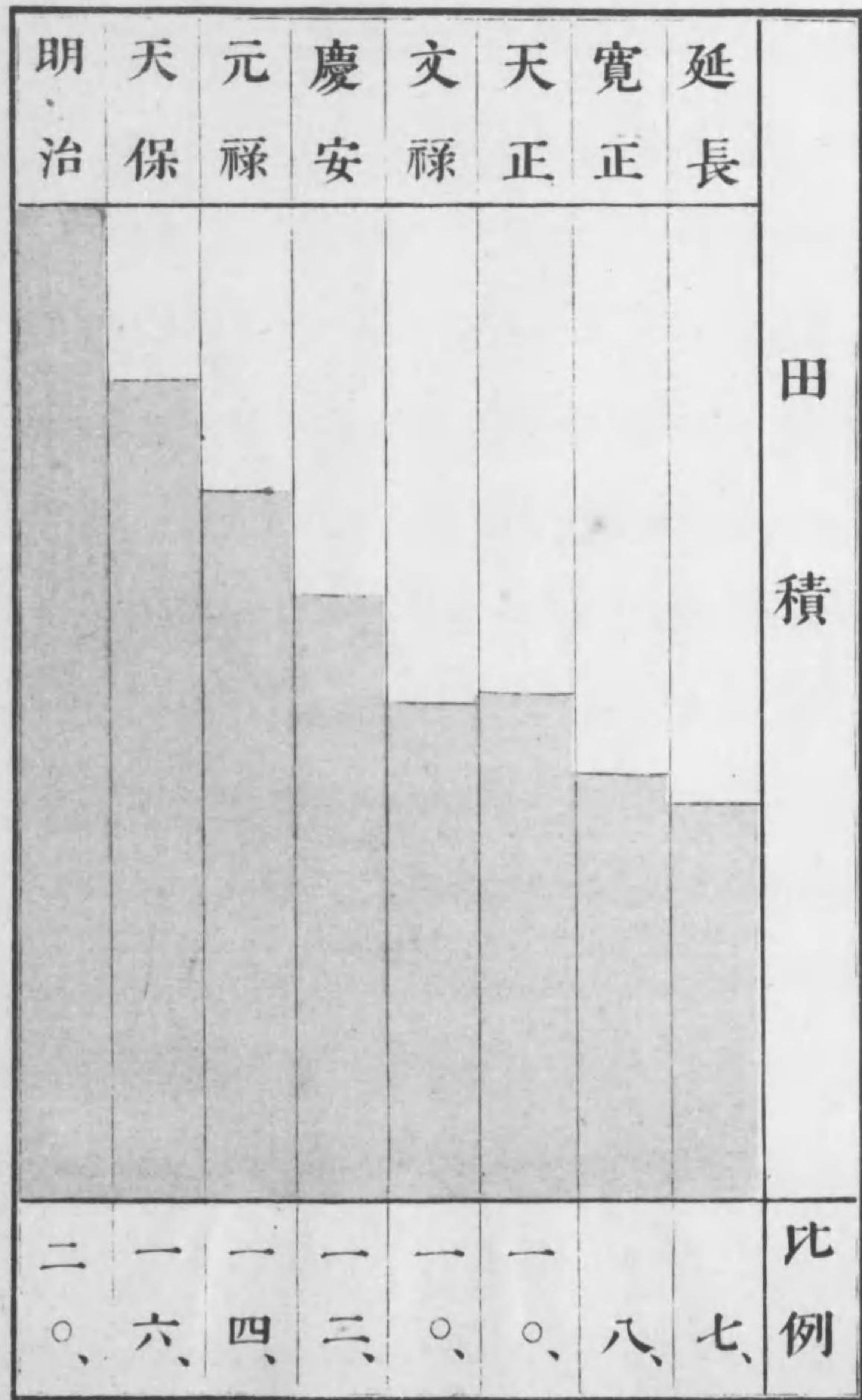
延長寛正の石盛は令義解に段(三百六十步)の石貳石五斗とあるにより段(三百步)の石貳石八升三合と率とす

往古柵は一定の法なく人々の隨意に定めしものと見へて盡く異同あれば此れには假に今の柵と用ふ

天正より元祿までの田積と求めたるは各地概畧の平均步積六尺三寸と用ひ石盛も諸書に載たるものと酌量し上中下と平均して壹石四斗と率とす明治の田積は十三年十月の調査と用ひ石盛は平年の収量と用ふ

引據書目

- 延喜式 延喜雜式 和名抄 拾芥抄 天正記 當代記
- 慶安日本地圖 官中秘策 天保卿帳 地方全書 佗山石
- 地租臺帳



前ニ述べたるが如く田積石高とも不必しも盡く此年代小調へたる
 そのとい見へ給ども記録より各多少の異同あまば姑らく記録小
 載たるまゝを掲ぐ
 天正文祿慶安元祿の石高を博物館員柏木貨一郎が嘗て調べ置たる
 もの小就き更小原書ふよりて校訂を加へたるなり

第九 米産額四年比例

明治十二年五畿七道七十三國の米産額を合計するに三千百六十七万八千二百八十八石にしてこれと前年に比すれば六百三十九万五千七百五十一石の増額なり然れども本邦いまた統計の方法全く備はらざればこの産額も確實とは定めかたけれと概數を見るに於て補益なしとせず故に九年より十二年に至る産額を併せ五畿七道に別ち其比例を示す

寸積六百万石

道山東



道海東



道陸北



道海西



道陽山



道海南



内畿



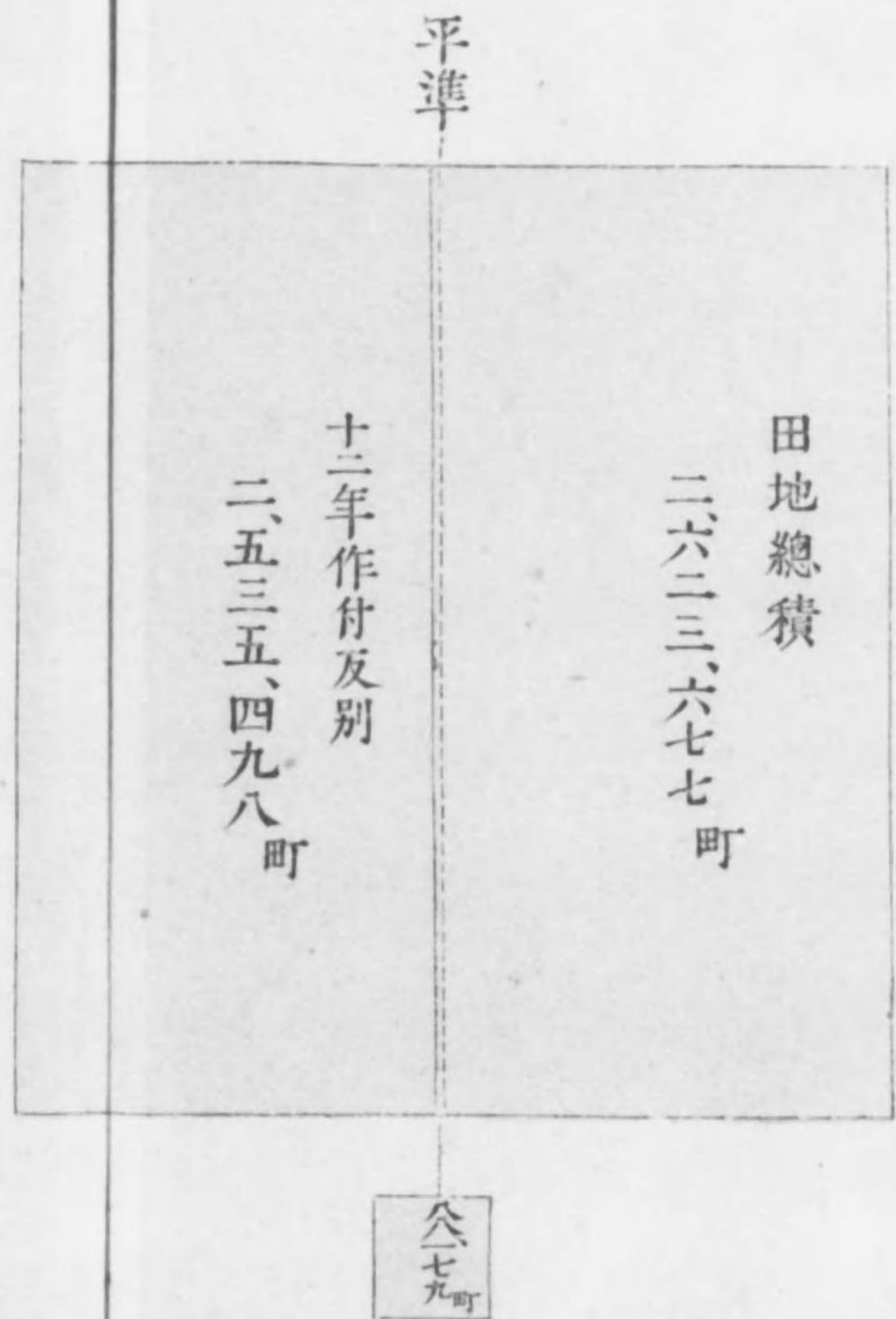
道陰山



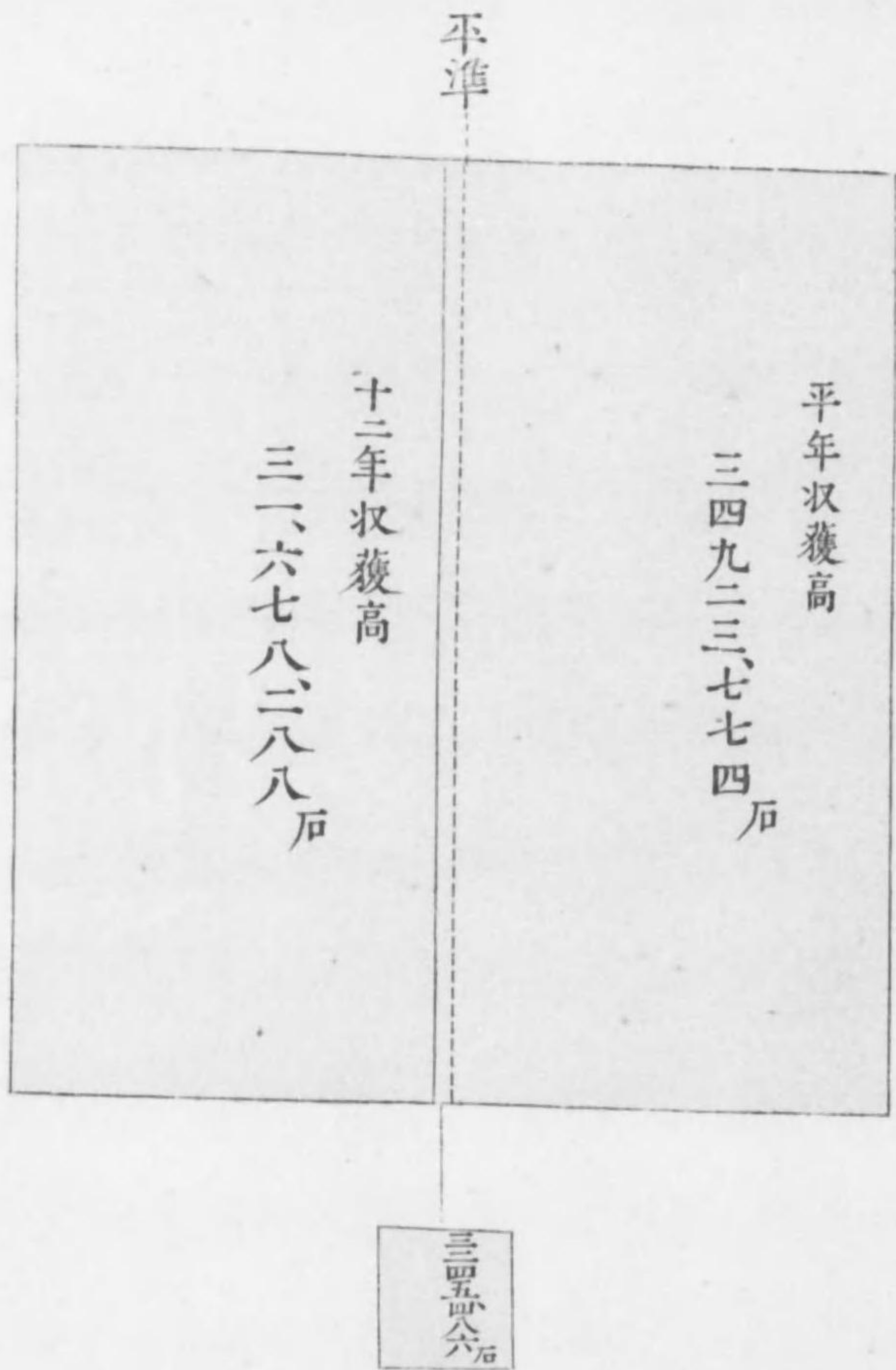
百分中

東山	東海	北陸	西海	山陽	南海	畿内	山陰
二六、五五	一八、九八	一二、四〇	一二、三五	一〇、三七	七、六二	六、一二	五、五六

第十 十二年作付反別平年比例
 九年より十二年に至る四ヶ年間の米産額は前に掲
 げたれはこゝに十二年の作付反別及收穫高とを以
 て田地惣積と平年收穫高とを對照して其比例を示
 す

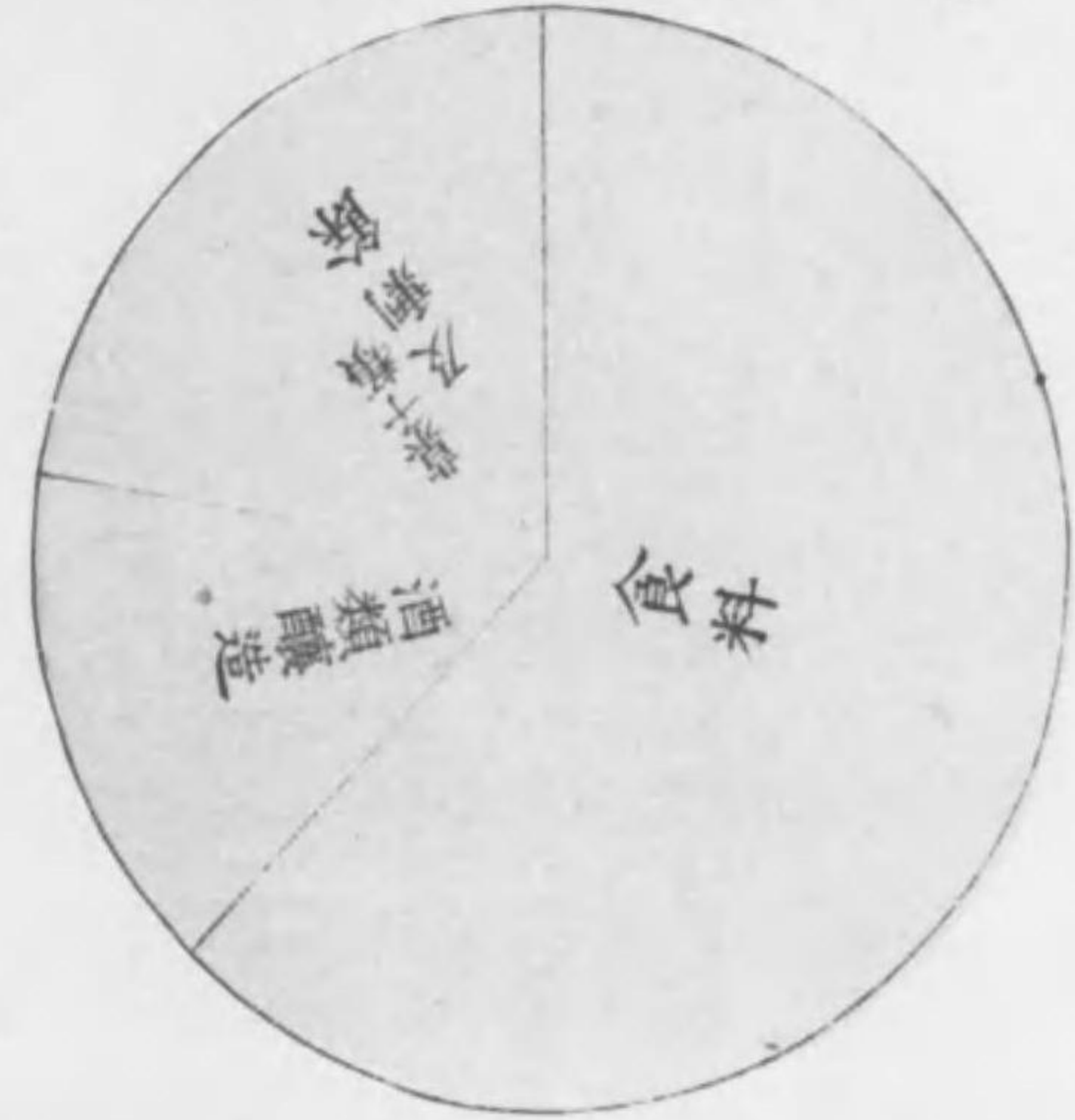


十二年米收穫高比例



毎年産出する米の石高と消費する石高との割合と
 詳悉するは經濟の要務なりといふも未だ確實の
 調査と盡くす事能はざれば假りに推測と以て其概
 畧の比例と示さんとす嘗て人民の常食と調査せし
 に米と食するものは人口惣計中平均百分の五十三
 の割合に居れりされは三千五百七十六万八千五百
 八十四人(十二年調)のうち千八百九十五万七千三百
 五十人は米と食料となすものにして壯年老幼男女
 と平均し一日一人三合と食するの率と假定せば一
 ケ年二千七十五万八千二百九十八石と消費するも
 のとすま九十二年中各種酒類に醸造せし石高は四
 百六十五万四千五百四石にして内銘酒等に用ひし
 もの七万八千七百十五石なりき只前年の越石及菓
 子類等に消費せし石高と知るに由なきと憾とす
 十二年の米産額に同年海外より輸入せし石高と
 和すれば三千百六十七万八千二百八十八石にして
 内四万九千九百九十四石は輸入米なりこの石高よ
 り食料酒料の石高と引去れば即ち六百二十六万五
 千四百八十六石と剰餘とすこの剰餘と以て菓子類
 及ひ前年の越高當年の殘額と假定す

明治二十年
五畿七道三十三國
米消費及剩餘概計



寸積五百万石

東京府下米消費概計

此表は三井物産會社の調査に係るこの消費額に就て更に府下十五區の人口六十七万三千三百三十五人の食料に消費する數量と推算するに壹人壹日平均三合と食するの率にして壹ヶ年の費額七十三万五千百一十石とすこれと消費惣額より引去れば剩る所二十一萬千七百八十三石なりこの剩餘は菓子澱粉類酒類醸造等に消費するものと假定す

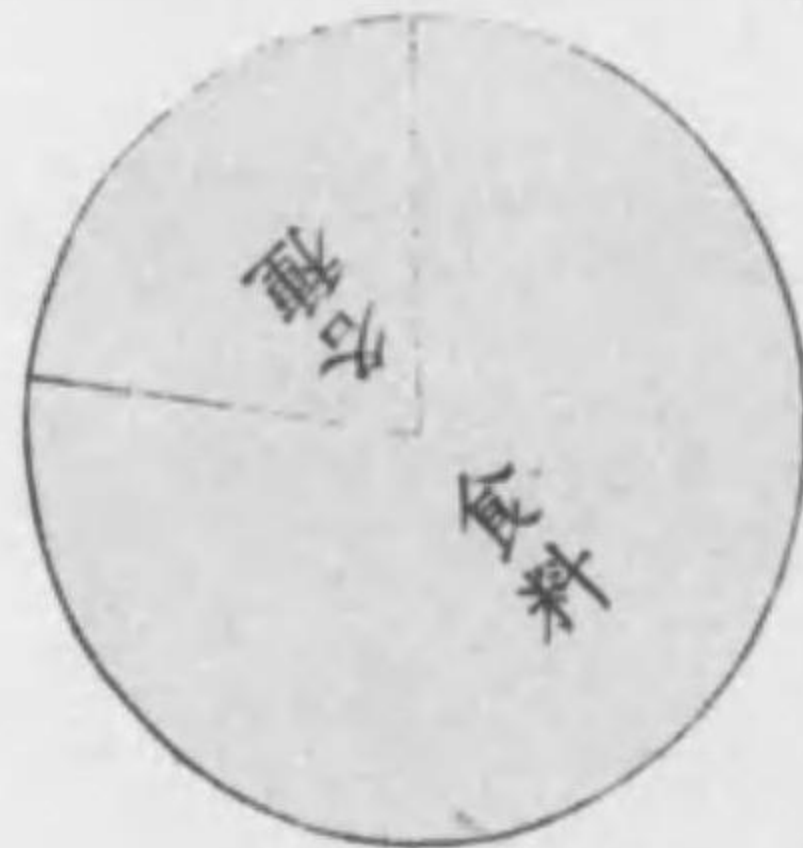
酒類醸造高石



明治十二年
東京府下米輸出入及消費

輸入	石	高
東海道地方	一七八、八八	石
三陸地方	一九〇、五二八	
北國地方	一五〇、八八二	
中國西國地方	一八、五六五	
各地廻り	三九一、七二二	
合計	九三〇、五七七	
前年より	一四七、四八〇	
持越	一〇七八、〇五七	
總計	九四六、八九四	
消費	三、五八三	
再輸出	一二七、五八〇	
索引		

明治二十年
消費總額



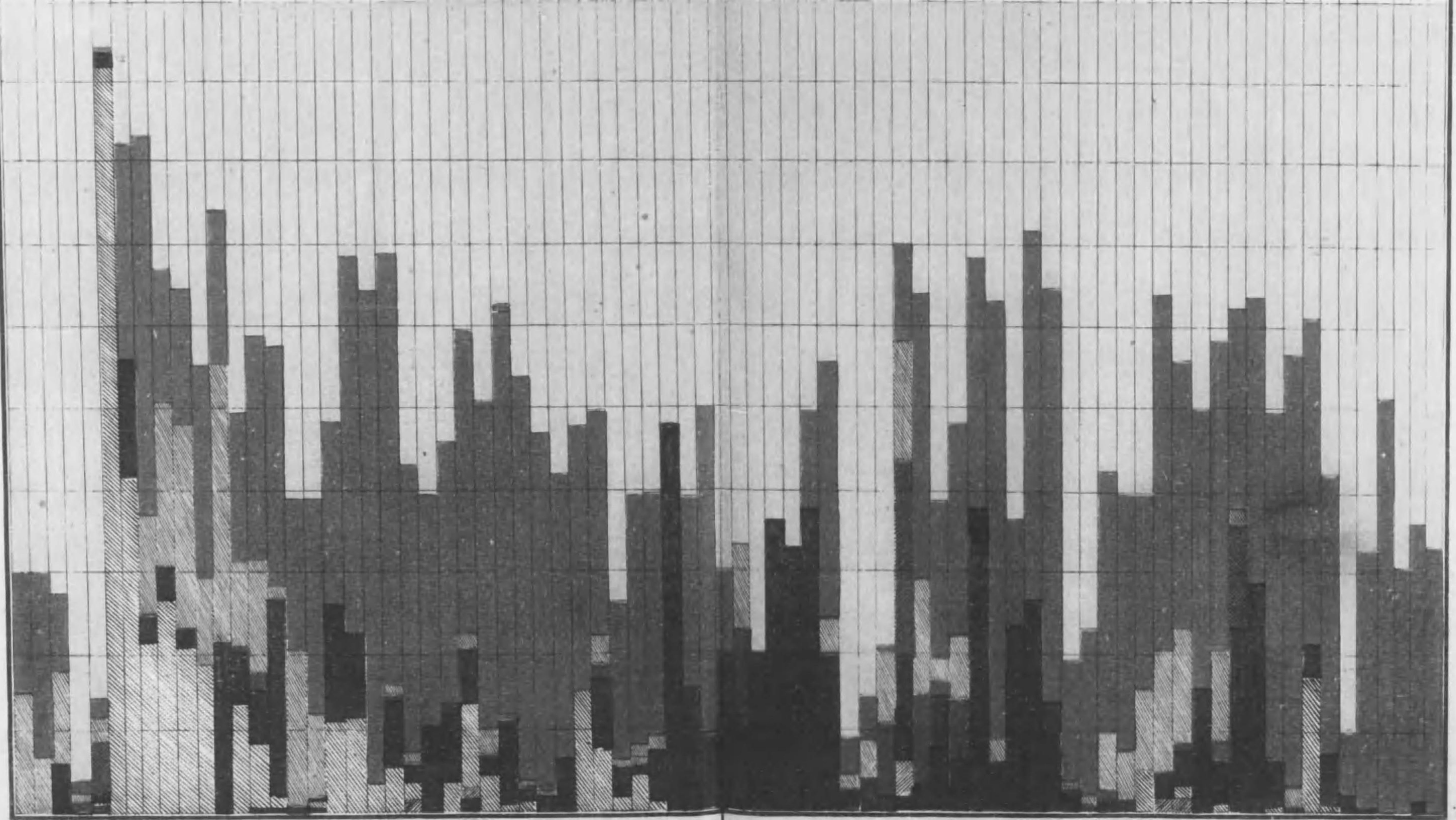
寸積五百万石

明治十二年各府縣酒類釀造米石數

府縣名	清酒ノ分	濁酒ノ分	白酒ノ分	味淋ノ分	燒酎ノ分	銘酒ノ分	合計
東京	一八二〇五九	五三二〇〇四	二五九八七五	五	一六九四三九七	六九七三七	九一〇三三三三
京都	一六九〇三〇七	一一七六四四	一九九三七	九三三三九		二〇三九九	一七九〇二九九
大阪	八三三七二〇八	一五八四四	一五九六七五	六三三二六		一三二二	九〇〇三三二六
神奈川	五五五五九	二二九四四三	三三〇四二		二二九四四		五八六二〇八
兵庫	三三九六四七	三三九八	不詳				三三九六四七
長崎	一六九〇三〇七	三三九八	不詳				一六九〇三〇七
新潟	二七六二二一六	七二八五	一三一				二七六二二一六
埼玉	一一三三三〇	一〇三二四	三二四四		四四七		一二三三三〇
千葉	八七八九九	一一三三三〇	八〇九八	五三三三		四六九九三	一〇六〇六〇
茨城	二二四七九	二九八四八	五八五三	七二二		二〇七五	二七四七九
群馬	四四七七八	三六〇三	二五五八	一五七七		七八一三	八四七七八
栃木	一〇二一七	九一九九	八〇二	六六八		六六六	一〇二一七
三重	一四一八二	六二二〇	一六八九	四二二		五二二	一四一八二
愛知	二二七八二	五五二四	一〇〇三	一〇七五		六八八	二二七八二
静岡	九〇八六	二六五三	八〇五六	三三三		六二	九〇八六
山梨	五八八	一〇五一	一〇六七	四七		三二	五八八
滋賀	三六〇〇	二九四一	三九九	二七		二二	三六〇〇
岐阜	九六八八	四七〇	三九九	六三		三二	九六八八
長野	一六二七	二二七					一六二七
宮城	五二六	三三三	一一三	三三		二七	五二六
福島	一九〇	八七五	六二	三三		一八	一九〇
岩手	五八	三三	八〇	六		一	五八
青森	八	一	五				八
山形	六〇	九七	三三	二		一	六〇
秋田	三〇	三	三	二		一	三〇
石川	三三	五〇	一七	三〇		一	三三
島根	八	二〇					八
岡山	一	二〇	三	六		一	一
広島	一	一	三	七		六	一
山口	二	一	三	二		一	二
和歌山	六	八		六		一	六
愛媛	二	六	七	三		一	二
高知	五	四		六		一	五
徳島	七	六		四		一	七
福岡	二〇	八	〇	三		一	二〇
大分	三	四	一	二		一	三
熊本	一	二	一	一		一	一
鹿児島	三	一	一	一		一	三
合計	一〇〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇

人 民 常 食 種 類 比 例

山 大 河 和 橋 伊 伊 志 尾 三 遠 駿 甲 伊 相 武 安 上 下 常 近 美 飛 信 上 下 磬 岩 陸 陸 陸 羽 羽 差 越 加 能 越 越 佐 丹 丹 但 因 伯 出 石 隱 播 美 備 備 備 安 周 長 紀 阿 讚 伊 土 筑 筑 豐 豐 肥 肥 日 大 薩 壹 對 現 波 後 贖 日
 城 內 泉 津 賀 勢 摩 飛 河 江 河 斐 豆 換 藏 房 總 陸 江 濃 濃 野 野 城 代 中 前 與 後 前 後 前 後 前 後 前 後 中 登 賀 前 後 中 後 波 後 馬 槽 者 雲 見 岐 摩 作 前 後 中 後 藝 防 門 伊 波 岐 豫 佐 前 後 前 後 前 後 向 隅 擊 岐 馬 球 高 振 狩 高



小作農夫賃錢比例

府縣名	壹	ケ	年	三寸	二寸	一寸	〇
熊本	八六	四五	三五				
神奈川	五四	三七	七九				
群馬	五四	三二	二六				
栃木	五二	六六	六七				
山梨	五〇	二二					
岐阜	四九	一七	七五				
兵庫	四二	九一	一一				
茨城	四二	二六	九九				
徳島	四二	一八	七七				
三重	四一	七六	六三				
静岡	四一	四六	六三				
堺	四〇	七七	七八				
山形	四〇	六三	三三				
愛知	四〇	五九	八一				
長野	三九	六七	七八				
大阪	三九	四二	二八				
東京	三六	五一	一五				
和歌山	三六	〇五	九九				
廣島	三四	三					
京都	三四	〇一	九九				
千葉	三三	七三	五五				
新潟	三三	四五	四				
福岡	三二	二二	二六				
石川	三一	七五	五				
岡山	三一	四九					
秋田	三一	三一	一八				
山口	三一	〇六	三三				
愛媛	三〇	七四	八				
長門	三〇	二〇	一一				
高知	二九	三三	九九				
福岡	二八	六一	一三				
大分	二八	五一	一九				
鹿児島	二四	六二	二三				
青森	二四	〇九	四				
島根	二二	一四	六				
岩手	二一	六七	九				
滋賀	二一	一五					
埼玉	一五	七六	九				
宮城	調査未了						
沖繩	同						
平均	三五	三一	一一				

明治十二年各府縣勸業費一覽表

府縣名	地方稅收入全計	同支出全計	同支出 全計內 勸業費	收入 引豫備	支出 全計	勸業費 分ナ 平均	郡 區 別 費 比 例 線
秋田	209,955	199,551	11,000	10,435	600	1,334	
石川	377,322	386,555	27,660	9,721	720	1,326	
青森	139,450	139,299	8,070	20,129	578	1,008	
長野	307,408	307,921	1,000	8,270	331	1,000	
岩手	222,535	222,535	1,329	578	630	704	
愛知	468,945	468,009	1,238	49,357	246	602	
山梨	159,518	159,518	49,899	49,899	312	554	
京都	325,872	325,872	1,590		355	551	
山形	241,661	241,661	57,186	43,077	236	519	
新潟	360,000	355,692	9,204	43,077	258	511	
栃木	232,458	220,981	49,122	10,477	222	492	
東京	442,203	433,854	9,721	11,448	225	462	
宮城	272,334	268,255	7,433	28,088	276	437	
千葉	312,303	312,042	6,699	26,088	279	414	
岐阜	258,971	254,451	9,145	45,210	359	365	
大坂	418,528	393,385	38,996	20,143	97	354	
福岡	352,788	352,502	11,207	12,257	318	350	
神奈川	335,501	328,922	5,079	6,578	154	317	
埼玉	282,921	225,404	5,299	49,966	193	294	
群馬	223,054	221,387	8,000	12,661	207	294	
和歌山	187,222	181,446	2,051	5,766	137	227	
愛媛	40,107	39,121	5,367	9,780	137	178	
熊本	267,751	267,751	2,800		07	175	
長門	298,977	281,979	3,460	15,000	122	164	
大分	195,024	194,938	1,932	8,565	99	161	
兵庫	440,135	429,355	4,768	10,800	111	140	
廣島	348,735	321,810	2,858	36,913	91	124	
茨城	230,293	227,768	2,100	25,255	92	116	
山口	223,662	203,662	1,500	10,000	73	115	
福島	289,240	288,866	2,500	3,740	66	113	
高知	145,073	144,333	1,690	7,599	17	99	
島根	328,591	310,794	3,250	5,797	04	95	
静岡	319,278	308,783	1,959	10,495	63	85	
岡山	368,426	363,334	2,534	5,021	69	79	
鹿児島	259,111	257,761	1,862	1,500	22	68	
三重	337,805	337,805	2,500		7	119	
合計	5,893,338	5,650,009	2,925,929	1,993,329	43,344		

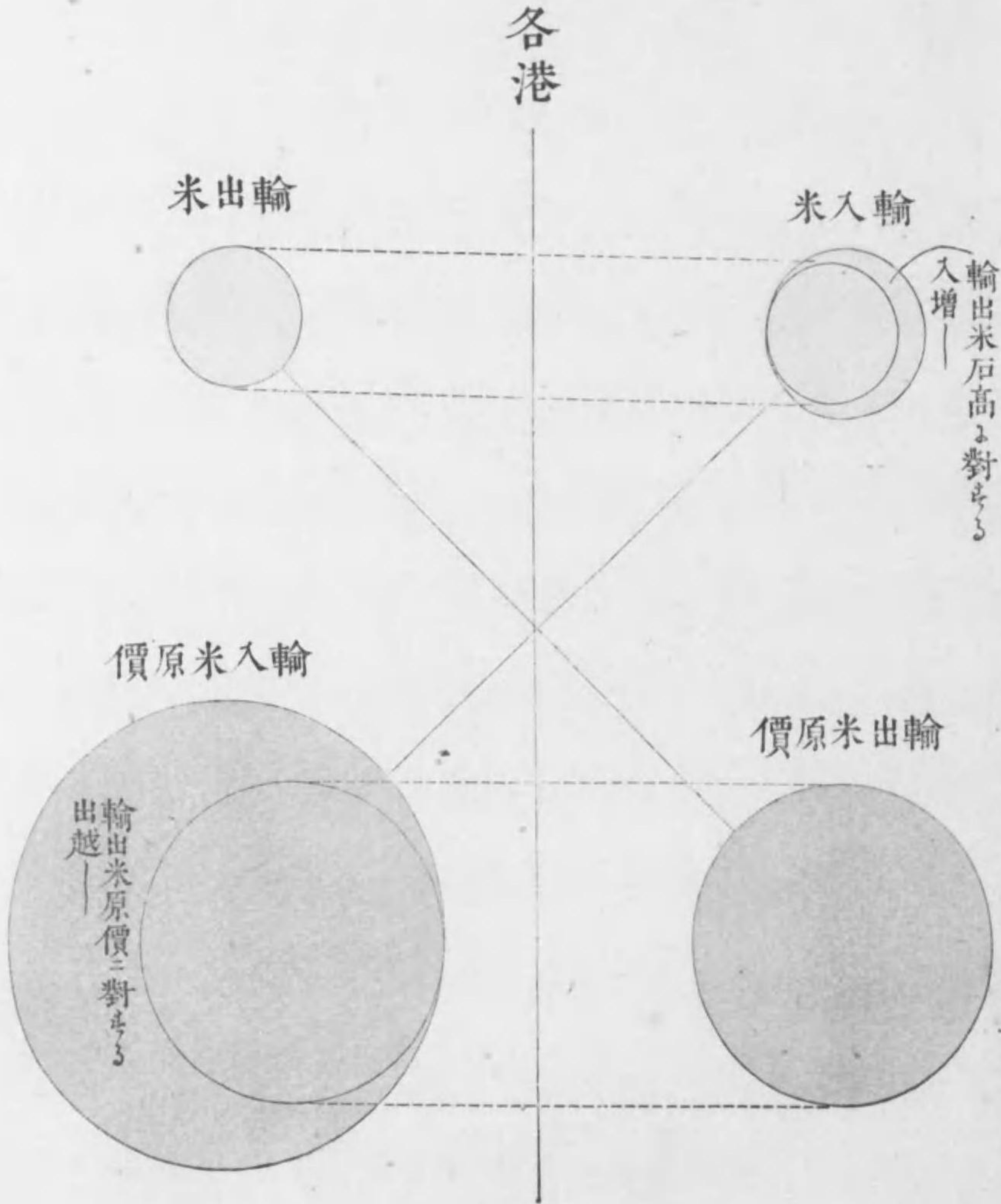
第十九

米 輸 出 入 原 價 比 例

明治元年より同十二年にわたる十二年間米の海外輸出入多寡を貿易税誌に徴するに輸出の石高は百五十九万三千三百廿壹石この價金九百十五万二千六百三十三圓にして輸入の石高は三百十五万九千七百五十石此價金貳千百廿六万六千二百五十七圓なり輸入の輸出に超過すること石は百五十六万八千四百貳十九石價金は千二百一十一万三千六百廿四圓なり

斯く輸入の輸出に超過するは何ぞや蓋し明治二三の兩年凶歉に遭ひ貳百七十九万九千百廿八石(價金千九百三万圓)の米と海外より購求したるによるなり故に十二年間の輸出高と擧ぐるもいまだ此二ヶ年の輸入高と償ふこと能はずされは一朝凶歉の爲に被る損失の容易ならざるを鑒み經濟の責を任するものは豊收の時に於て注意を怠るへからざるなり

從明治元年至十二年		比例	
石數		比例	
輸出 一五九一,三二一	三三,五	九,一五二,六三三	三〇,一
輸入 三,一五九,七五〇	六六,五	二一,二六六,二五七	六九,九



第二十 糸茶綿糖輸出入原價比例

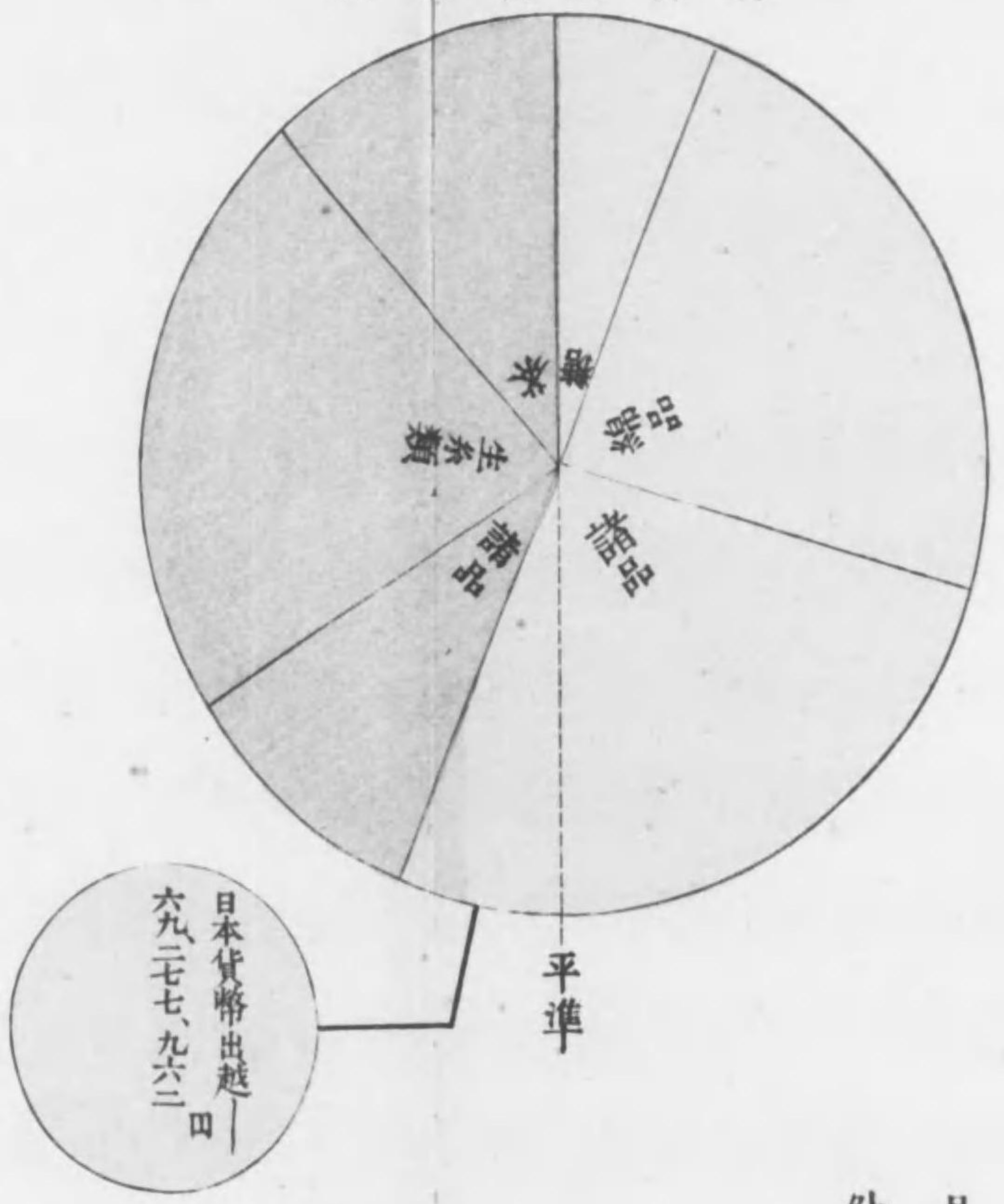
明治元年より同十二年にいたる海外貿易物品原價と彼此合計すれば約五億五千五百万圓なり然して輸入物品原價は三億千二百万圓にして輸出品物元價は二億四千二百万圓なりこれと對比するに輸入物品原價は一日に付五十六輸出物品原價は四十三の率となすこの對較中糸茶綿糖四品の原價と區分して其輕重と示す

貿易品中重なるものと要するに糸茶綿糖の四品とすこの原價と十二ヶ年間合計すれば三億三千五百万圓なり此比例一日に付糸茶は五十四綿糖は四十六の率となすこれによりてこれと見れば我國貿易の權衡と失ふものは全く他の諸品購求の如何にあり請ふ左の比例と見よ

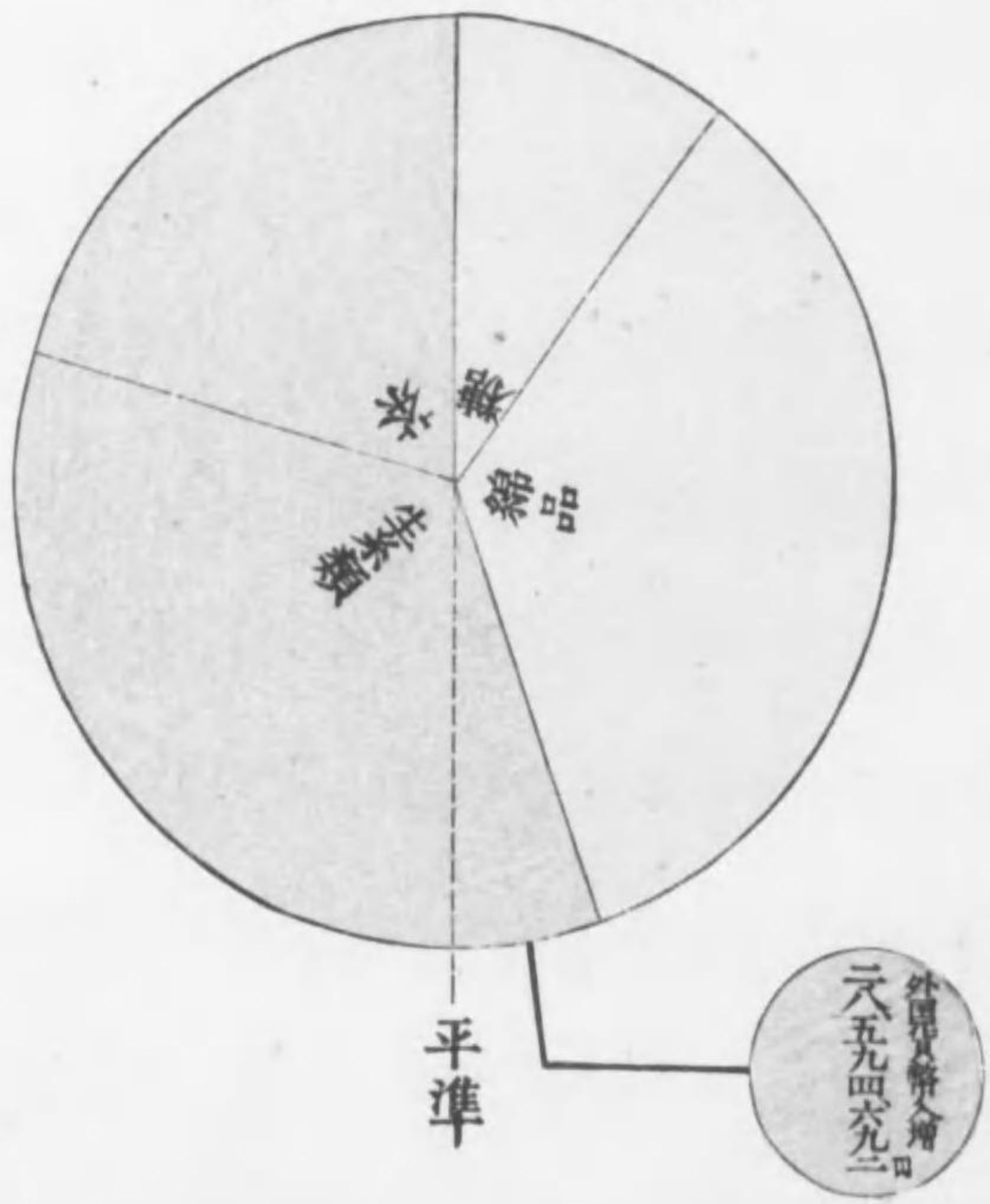
寸率五千万圓

日本貨幣 ○
外國貨幣 ●

從明治元年至同十二年
貿易元價比例例



從明治元年至同十二年
糸茶綿糖貿易原價比例例



第二十一

牛馬増減

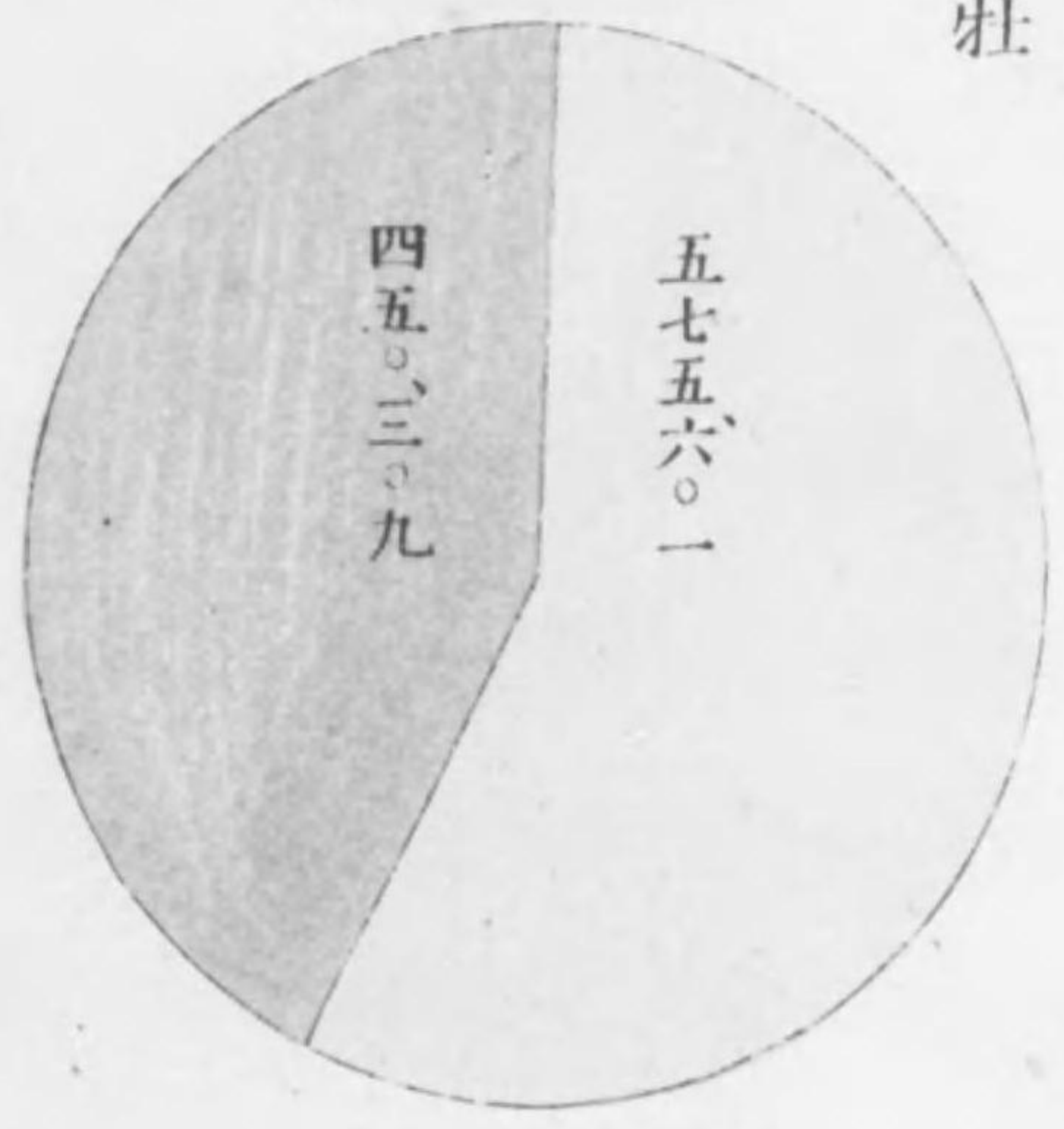
第一は明治十年より同十二年にいたる三年間牛馬現存減耗の比例を示し第二は牛馬と田畑反別との比例第三は牛馬と人口及び農民との比例第四は屠牛と人口との比例第五は東京府下屠牛と人口との比例第六は内外牛馬人口比例を示す

寸率十五万頭

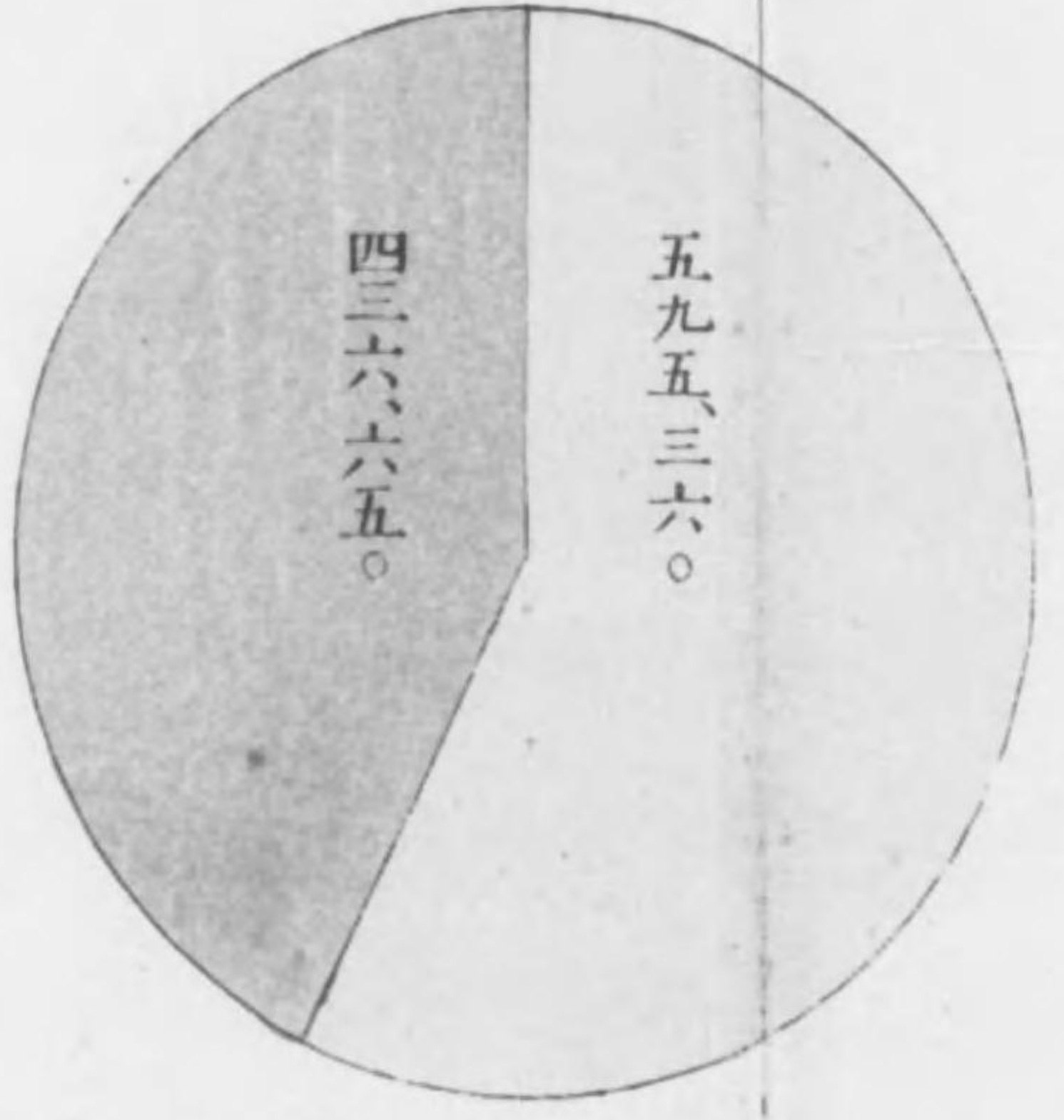
● 壯
○ 牝

例 比 減 増 牛 畜 道 七 畿 五

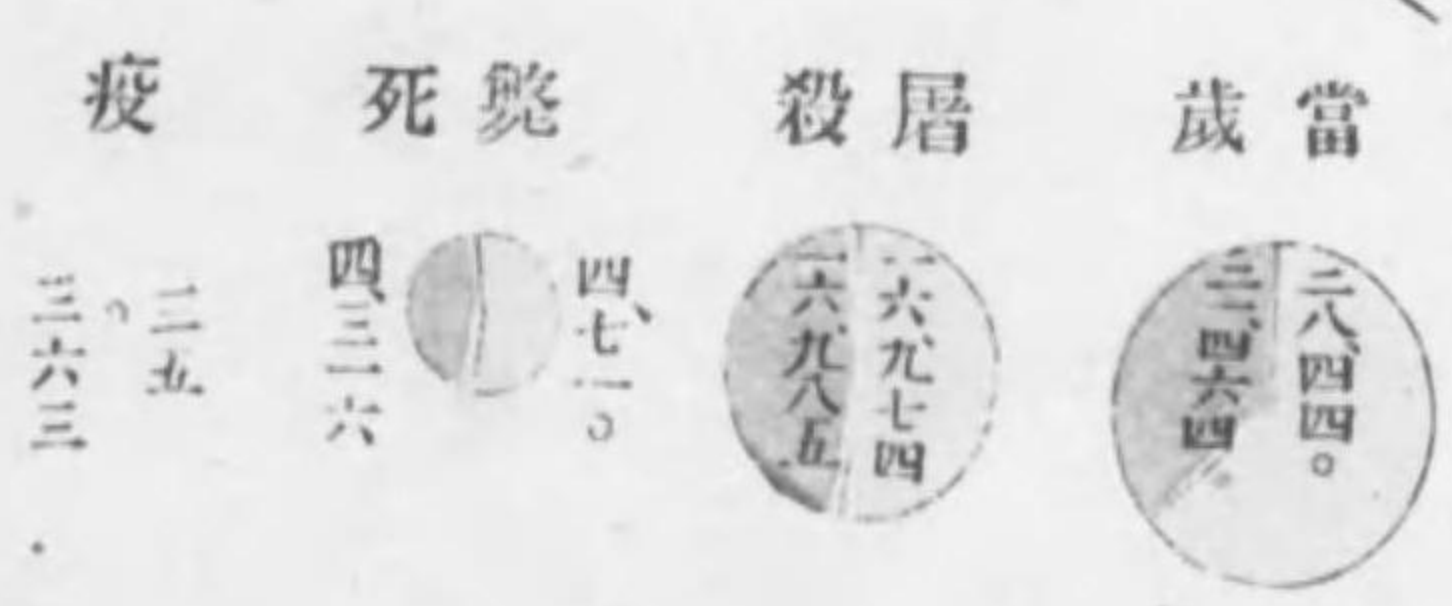
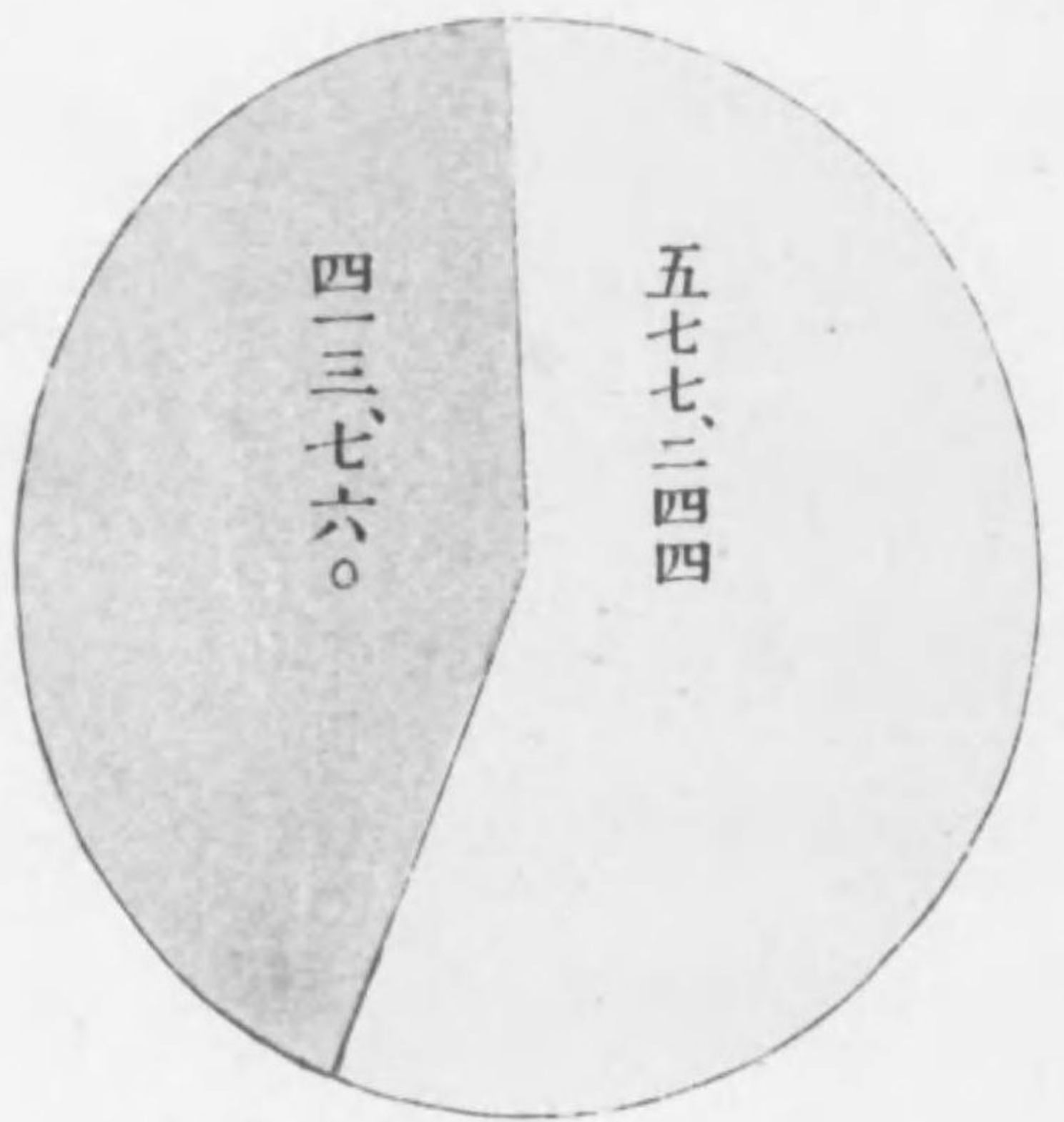
年 存 現 十



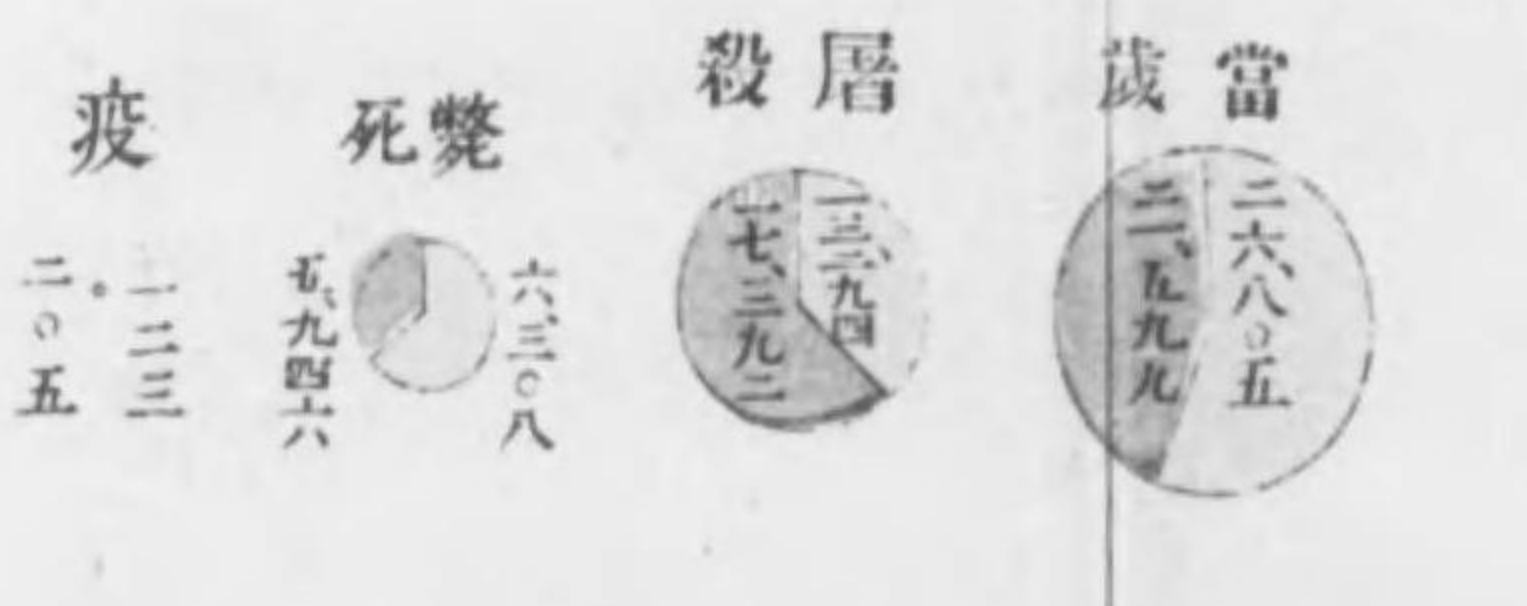
年 存 現 十 一



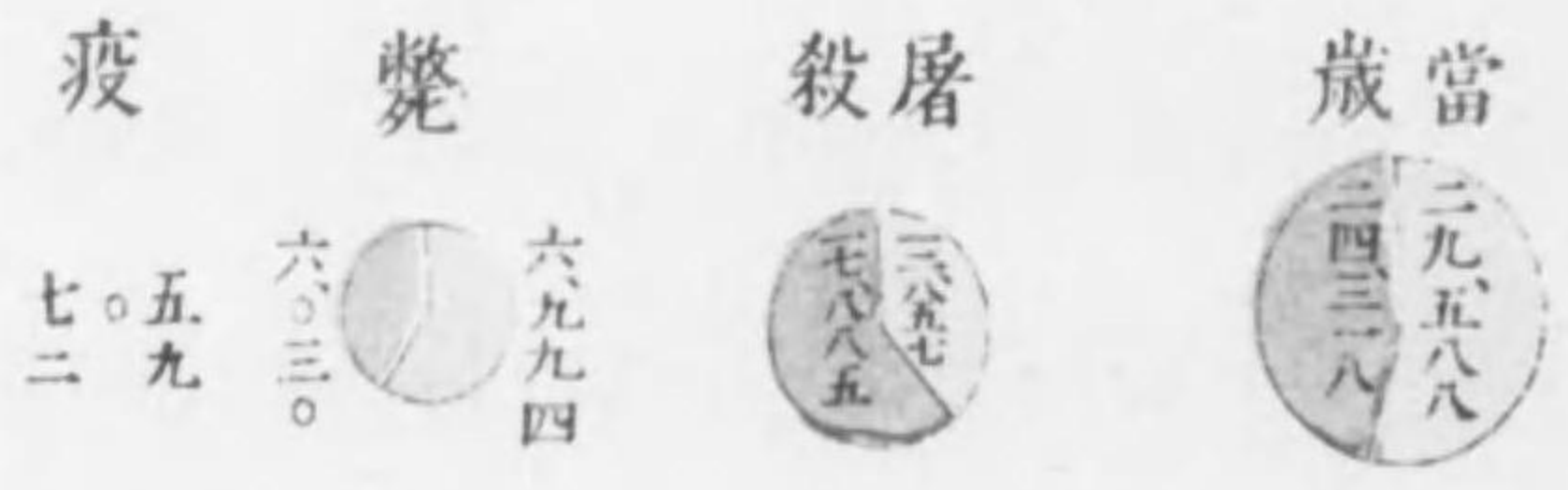
年 存 現 二十



例 比 減 増
増 六九



例 比 減 増
増 五三



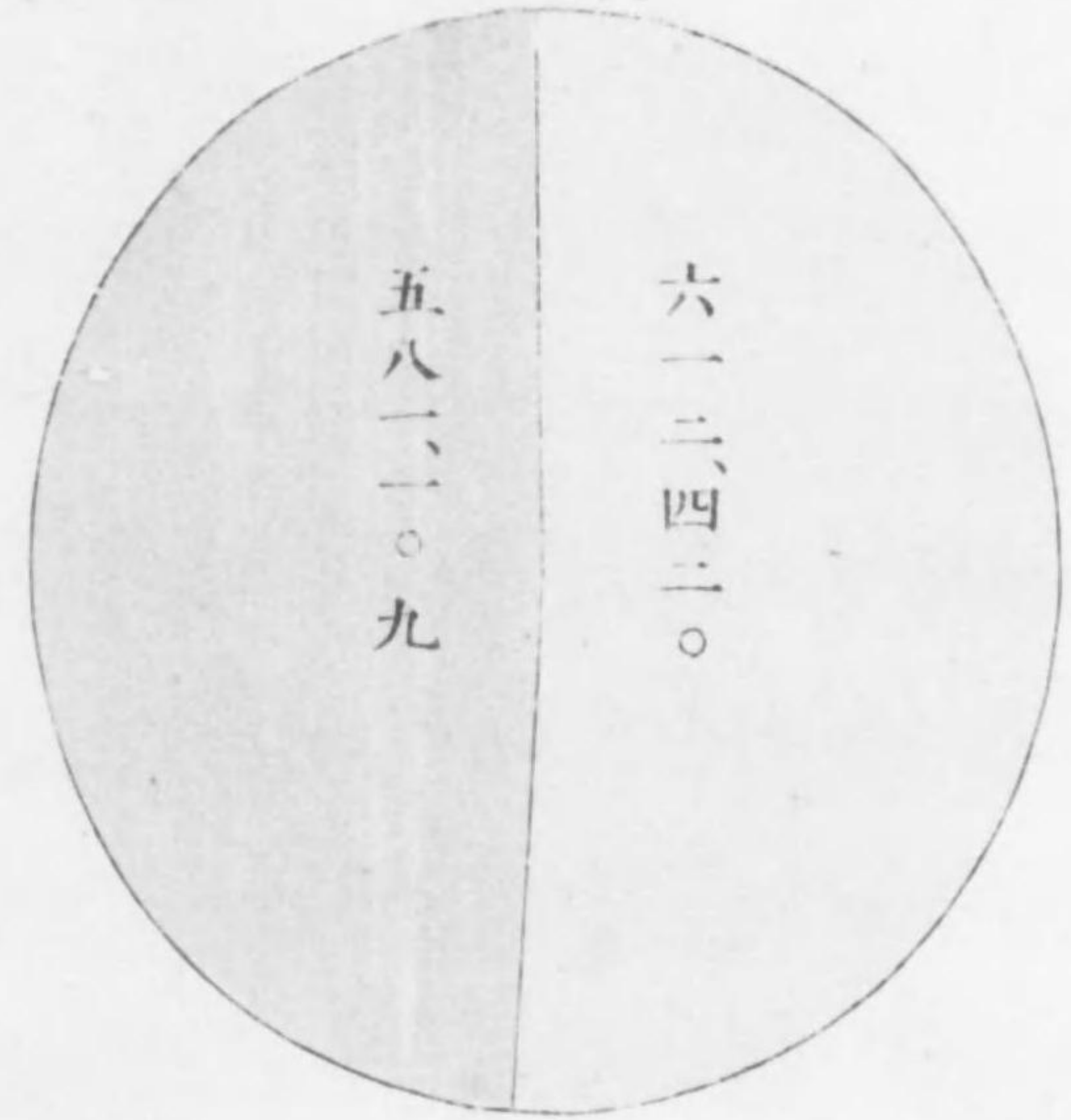
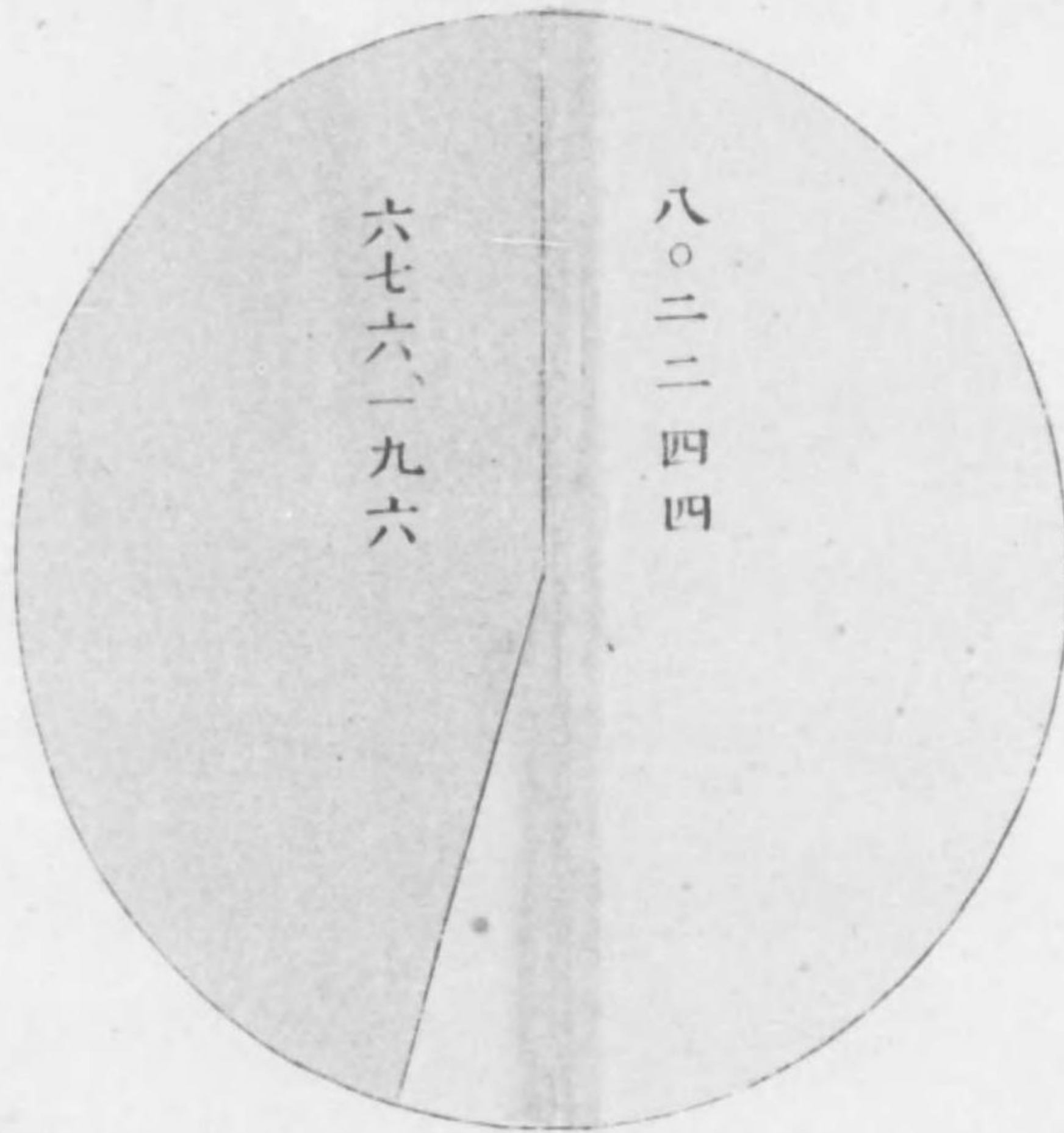
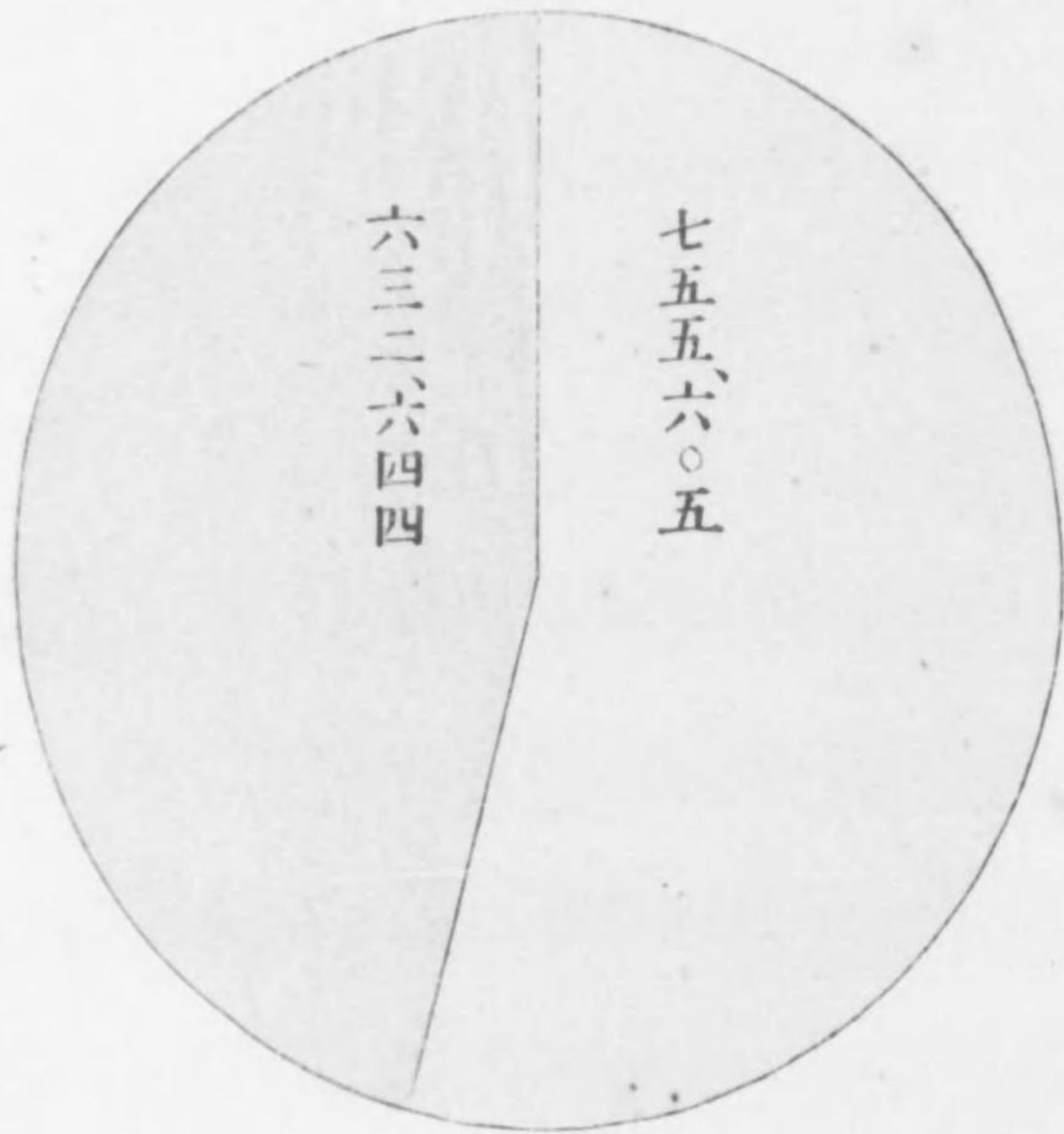
例 比 減 増
増 三〇

五畿七道畜馬増減比例

二十年
現存

十年
現存

十年
現存



増減比例
増
四三二八〇

増減比例
増
四五二

増減比例
増
三八三七

馬 明 治 十 二 年 地 比 例

國名	田牛	畑馬
平	三	三
薩	三	六
大	三	九
下	一	三
常	一	四
下	一	五
尾	三	五
上	三	一
武	五	一
警	八	六
羽	九	九
越	一	一
陸	一	一
連	一	一
越	一	一
岩	一	一
信	一	一
相	一	一
甲	一	一
筑	一	一
加	一	一
三	一	一
美	一	一
羽	一	一
上	一	一
越	一	一
駿	一	一
陸	一	一
能	一	一
陸	一	一
志	一	一
采	一	一
若	一	一
近	一	一
土	一	一
山	一	一
大	一	一
河	一	一
日	一	一
伊	一	一
肥	一	一
肥	一	一
伊	一	一
伊	一	一
攝	一	一
丹	一	一
阿	一	一
出	一	一
武	一	一
和	一	一
豐	一	一
安	一	一
伊	一	一
播	一	一
磨	一	一
備	一	一
備	一	一
安	一	一
肥	一	一
讀	一	一
因	一	一
佐	一	一
但	一	一
丹	一	一
伯	一	一
備	一	一
周	一	一
美	一	一
石	一	一
淡	一	一
豐	一	一
長	一	一
對	一	一
壺	一	一
國	一	一

馬 比 例 線

東京府下屠牛人口比例

十二年中東京府下に於て屠殺せし牛の頭数は六千九百六十三頭にして全國屠牛の頭數に對する比例百に付廿九にわたれり而して壹頭につき食料となすべき肉の斤量平均四百五十斤として六千九百六十三頭の肉三百十三万三千三百五十斤と得これと一年ニ別ては壹ヶ月廿六万千百十二斤五分に値りまた壹日に別ては八千五百八十四斤五分に値る試みに府下十五區の人口に分賦すれば壹ヶ年壹人三斤四分に値る割合なり

斤率(百二十目)

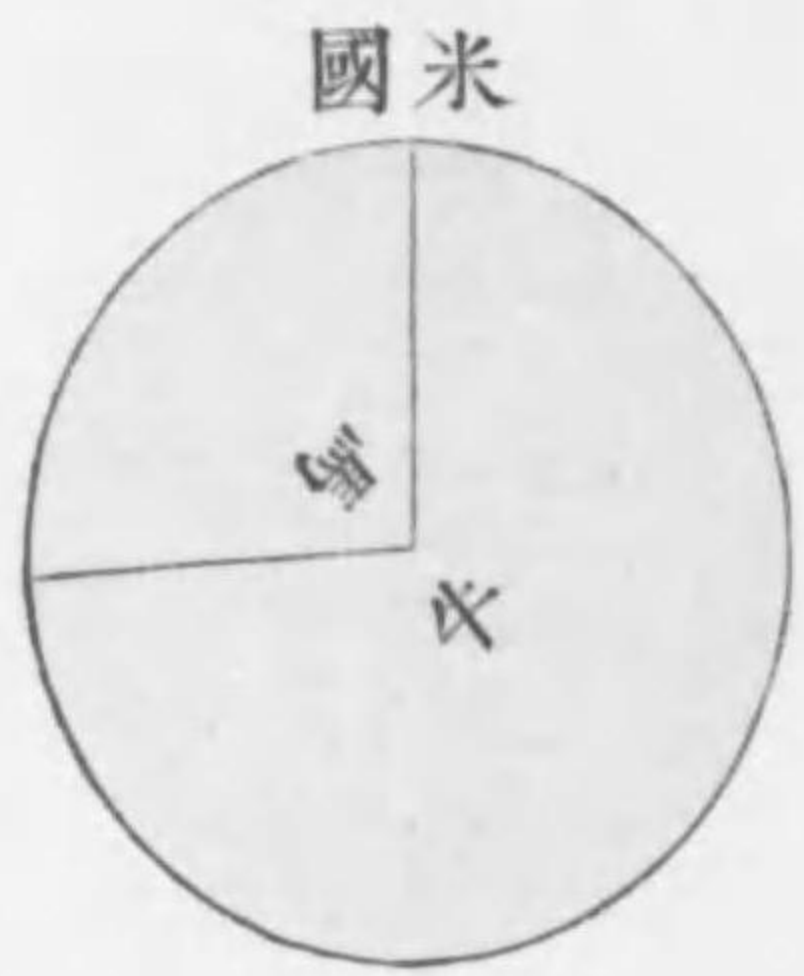
東京府下	
屠牛頭數	六、九六三
肉	三、一三三、三五〇斤
量	壹頭肉量
	四五〇斤
	十五區人口一個ニ付 壹ヶ年平均
	三斤四分

内外牛馬人口比例

年 紀	人 口	牛	馬	人口百個ニ付	
				牛	馬
日本	二千五百三十九	三五、七六八、五八四	一、〇七五、七四九	一、二三〇、八二二	三頭牛 三頭馬
英國	十八百七十七	三一、六二九、二九九	九、七三一、五三七	一、八九四、一二八	三〇七
佛國	千八百六十六	三八、〇六七、〇九四	二、七三三、一七八	三、三二二、六五八	七一
米國	千八百七十	三八、五五八、三七一	二、九二一、六九〇	一〇、一五五、四〇〇	七五七

内外牛馬人口の比例を示したれば更に牛馬頭數多寡を示す
四ヶ國合計中百分比例

米國 四六、
英國 二五、
佛國 一七、
日本 一一、



百人
千人
万人
十万人

全 國 人 口 牧 牛 比 例 表

國 名	明治九年調査ニ據ル人口	明治十年調査ニ據ル人口	明治九年調査ニ據ル人口ニ對シテノ平均百人ニ付三頭ニ當リ馬ノ平均百人ニ付三頭八七ニ當リ第一圖ハ吾國ノ人口ト牛馬トノ比例第二圖ハ吾國ノ人口ト牛馬トノ比例ナリ然シテ一國ノ人口ト牛馬トノ比例精多キハ養作ヲ以テ第一トス即百人ニ付二十頭五七壹岐之ニ亞ク即百人ニ付二十一頭六共其寂寡キヲ常陸トス即壹万人ニ付三頭ナリ農夫ト牧牛ノ比例ハ壹岐ヲ第一トシ備前之ニ亞ク吾國總人口ト牧馬ノ比例ハ陸中ヲ第一トシ陸奥之ニ亞ク農夫ト牧馬ノ比例ハ陸中ヲ第一トシ對馬ヲ第二トス而シテ寂寡キヲ志摩及下總トス左表ニ因テ其等差ヲ見ルヘシ
山 城	四三六三八六	四〇〇七一	四〇〇七一
大 和	四三三三三八	一〇、〇〇八	一〇、〇〇八
河 内	二四九六三四	八、九八四	八、九八四
和 泉	二二〇九六二	一八、六四二	一八、六四二
攝 津	七五三四二一	六、二三八	六、二三八
伊 賀	六〇、一六九五	二、二五二	二、二五二
伊 豫	四九六五四	七、四二	七、四二
志 摩	七四九八九七	二、六六	二、六六
尾 張	四九四八一四	一、三一八	一、三一八
三 河	四二一三四二	九、六七	九、六七
三 河	三八二八一四	二、二一五	二、二一五
美 濃	三七四二五〇	八、二三	八、二三
相 模	一五五、二四八	六、三二六	六、三二六
伊 豆	三七七、二五〇	一、〇〇六	一、〇〇六
伊 豆	二〇七、六二四	九、六五	九、六五
安 房	一五六、二四二	七、八五八	七、八五八
上 野	四三二、〇四六	三、二六〇	三、二六〇
下 野	六六五、〇七三	四、九	四、九
信 濃	六七九四八三	一、二七七	一、二七七
美 濃	六九二、二一八	二、二七七	二、二七七
飛 騨	一〇一、六〇〇	二、二七七	二、二七七
信 濃	九五五九一三	二、二七七	二、二七七
上 野	五四〇、四七七	一、六八	一、六八
下 野	五三四、三六三	一、二六	一、二六
陸 奥	三六九、一九四	一、八七	一、八七
陸 奥	五五七、九八二	一、四八七	一、四八七
陸 奥	五二四、九四四	一、七、八八四	一、七、八八四
陸 奥	四八九、二四五	八、一八五	八、一八五
陸 奥	五七、八六六	三、八三五	三、八三五
羽 前	四六六、九三六	二、四四八	二、四四八
羽 前	四二四、六〇九	一、〇一七	一、〇一七
越 前	二七、八二〇	三、五七三	三、五七三
越 前	六四九、四五八	六、三九	六、三九
加 賀	一、四〇、四一三	二、五二八	二、五二八
加 賀	一〇四、七六四	九、七八八	九、七八八
越 前	一九七、三七〇	二、四二七	二、四二七
丹 波	一六二、九八八	八、三三〇	八、三三〇
丹 波	一九一、二四〇	一〇、六〇七	一〇、六〇七
因 幡	一六七、〇二〇	一〇、六〇七	一〇、六〇七
因 幡	一八八、九八〇	二、一三二	二、一三二
出 雲	三四、六二一	二、三三四	二、三三四
出 雲	二七〇、八〇四	二、九三六	二、九三六
石 見	二九六、三二二	四、三九七	四、三九七
石 見	六五九、六四三	四、一四五	四、一四五
播 磨	二一八、六〇五	五、一五六	五、一五六
播 磨	三三七、七四四	四、五七六	四、五七六
備 前	四一〇、九二二	六、七七九	六、七七九
備 前	四七五、七〇七	四、〇四五	四、〇四五
備 前	七〇〇、九九八	四、〇四五	四、〇四五
備 前	五〇、七八二	三、二六八	三、二六八
備 前	三三六、七二四	三、五二八	三、五二八
備 前	七〇、九八八	三、二六八	三、二六八
備 前	五〇、七八二	三、二六八	三、二六八
備 前	三三六、七二四	三、五二八	三、五二八
備 前	六三九、六九六	三、九二四	三、九二四
備 前	一六六、九二五	一、一七二	一、一七二
備 前	六二〇、二二五	二、二五七	二、二五七
備 前	五九一、五八四	三、五九七	三、五九七
備 前	七九、三九八	三、八二二	三、八二二
備 前	五三三、二九七	一、八七二	一、八七二
備 前	四五四、三三五	三、一八九	三、一八九
備 前	四〇〇、五〇四	二、九二	二、九二
備 前	三二二、一五六	二、二五七	二、二五七
備 前	一、〇〇、一、二九	六、〇六六	六、〇六六
備 前	九七、六七五	五、二九六	五、二九六
備 前	三、三三〇	七、二八七	七、二八七
備 前	三、一〇五	三、一〇六	三、一〇六
備 前	三、一六六、六一七	一、〇七、四四五	一、〇七、四四五
備 前	三、一六六、六一七	一、〇七、四四五	一、〇七、四四五

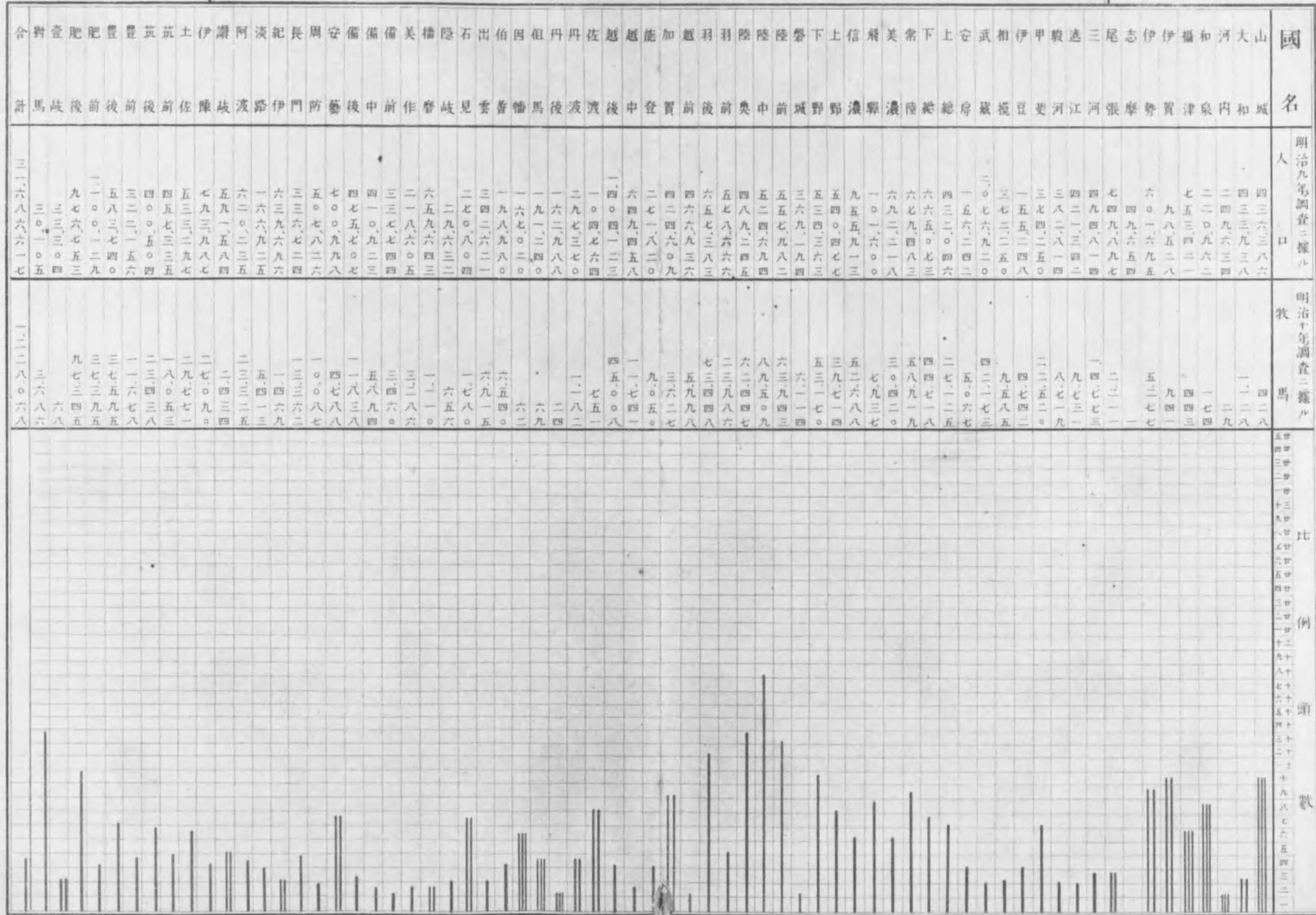
近江若狹岩代日向大隅薩摩ノ六國ハ牛馬ノ調査未了ニヨリ茲ニ列ヒス

全國ノ牛馬ヲ以テ全國ノ人口ニ比例スルニ牛ハ平均百人ニ付三頭三九ニ當リ馬ハ平均百人ニ付三頭八七ニ當リ第一圖ハ吾國ノ人口ト牛馬トノ比例第二圖ハ吾國ノ人口ト牛馬トノ比例ナリ然シテ一國ノ人口ト牛馬トノ比例精多キハ養作ヲ以テ第一トス即百人ニ付二十頭五七壹岐之ニ亞ク即百人ニ付二十一頭六共其寂寡キヲ常陸トス即壹万人ニ付三頭ナリ農夫ト牧牛ノ比例ハ壹岐ヲ第一トシ備前之ニ亞ク吾國總人口ト牧馬ノ比例ハ陸中ヲ第一トシ陸奥之ニ亞ク農夫ト牧馬ノ比例ハ陸中ヲ第一トシ對馬ヲ第二トス而シテ寂寡キヲ志摩及下總トス左表ニ因テ其等差ヲ見ルヘシ

百千人
万人

第一圖之二

全國人口牧馬比例表



終